

令和3年度  
島根県人権問題県民意識調査  
報告書

● 概要版 ●

島 根 県



# 目 次

## I 調査の概要

## II 調査結果の概要

- 1 人権尊重社会に対する感じ方
- 2 風習・慣習に対する意識
- 3 人権の知識・認識
- 4 女性の人権について
- 5 子どもの人権について
- 6 高齢者の人権について
- 7 障がいのある人の人権について
- 8 同和問題について
- 9 外国人の人権について
- 10 患者及び感染者等の人権について
- 11 犯罪被害者とその家族の人権について
- 12 刑を終えて出所した人の人権について
- 13 インターネットによる人権侵害について
- 14 性的指向、性自認等（LGBT等）に関わる人権について
- 15 研修の参加状況について
- 16 人権が尊重される社会に向けての取組みについて

この「概要版」は、島根県が令和3年11月に実施した「島根県人権問題県民意識調査」の回答について、各設問の総数を集計したものです。

地域別、性別、性・年齢別、職業別の結果等が必要な方は、「島根県人権問題県民意識調査報告書」（令和4年3月発行）をご覧ください。

# I 調査の概要

---

## 1. 調査の目的

本調査は、県民の人権に関する意識を把握・分析し、今後の人権施策、人権啓発を推進するための基礎資料とすることを目的とした。

## 2. 調査項目

- (1) 人権尊重社会に対する感じ方
- (2) 風習・慣習に対する意識
- (3) 人権の知識・認識
- (4) 女性の人権について
- (5) 子どもの人権について
- (6) 高齢者の人権について
- (7) 障がいのある人の人権について
- (8) 同和問題について
- (9) 外国人の人権について
- (10) 患者及び感染者等の人権について
- (11) 犯罪被害者とその家族の人権について
- (12) 刑を終えて出所した人の人権について
- (13) インターネットによる人権侵害について
- (14) 性的指向、性自認等（LGBT 等）に関わる人権について
- (15) 研修の参加状況について
- (16) 人権が尊重される社会に向けての取組みについて

## 3. 調査設計

- (1) 調査地域：島根県内全域
- (2) 調査対象：満 18 歳以上の県内在住者
- (3) 標本数：3,000 人
- (4) 標本抽出法：層化無作為抽出法
- (5) 調査方法：郵送法（礼状に併せ督促 1 回）
- (6) 調査期間：令和 3 年（2021 年）11 月 15 日～11 月 30 日
- (7) 調査委託機関：株式会社東京商工リサーチ

## 4. 回収結果

標本数	有効回収数（率）
3,000	1,531（51.0%）

## 5. 引用した他の調査の概要

本報告書では、以下の調査結果を引用・比較している。

ただし、設問の内容や選択肢が異なっているものもあるため、比較できる設問、選択肢についてのみ引用・比較している。

### <平成 28 年調査>

- ・調査名：「人権問題県民意識調査」
- ・調査期間：平成 28 年 9 月 23 日～10 月 14 日
- ・調査対象：満 18 歳以上の県内在住者 2,000 人
- ・標本抽出方法：層化無作為抽出法
- ・調査方法：郵送法（礼状に併せ督促 1 回）
- ・回収結果：有効回収標本数 1,088（54.4%）

また、以下の全国調査の結果も必要に応じて引用・比較している。

### <内閣府調査>

- ・調査名：「人権擁護に関する世論調査」
- ・調査期間：平成 29 年 10 月 5 日～10 月 15 日
- ・調査対象：全国 18 歳以上の日本国籍を有する者 3,000 人
- ・標本抽出方法：層化二段無作為抽出法
- ・調査方法：調査員による個別面接聴取法
- ・回収結果：有効回収標本数 1,758（58.6%）

## II 調査結果の概要

---

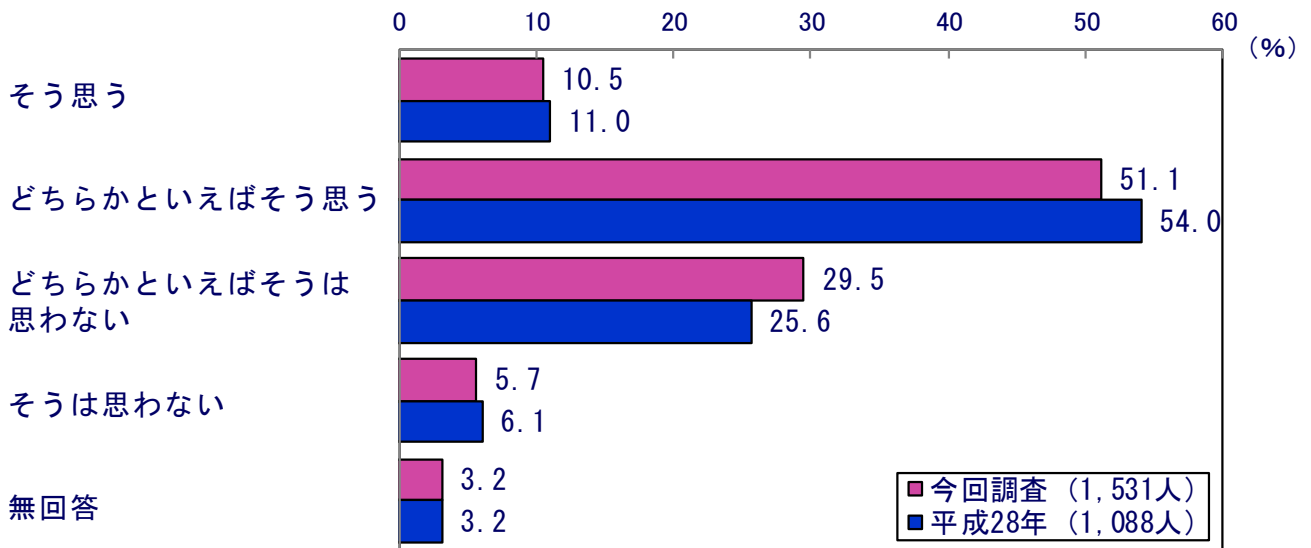
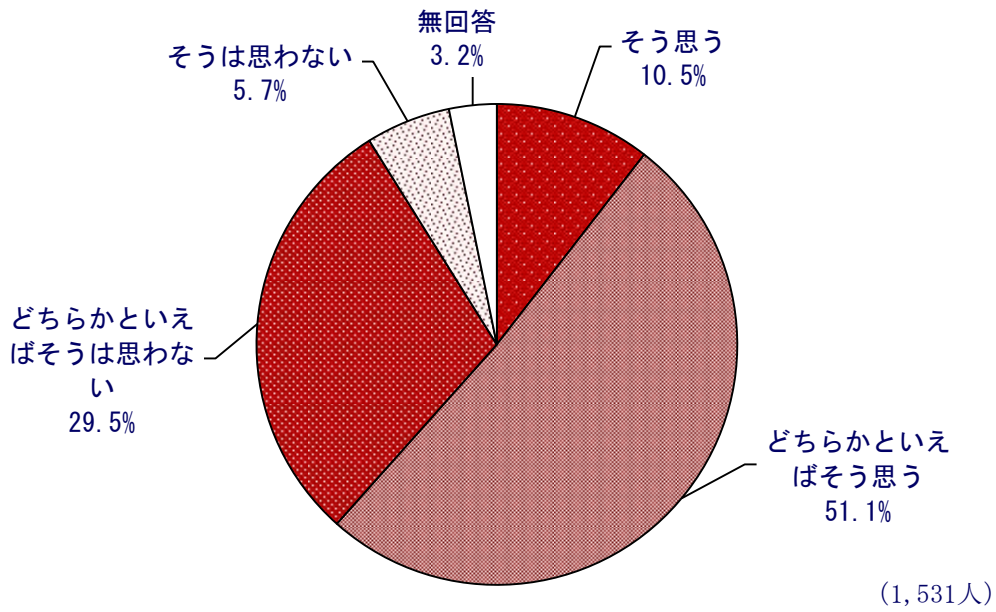
### 調査結果のみかた

- (1) 比率は、原則として各設問の無回答を含む集計対象総数（副設問では設問該当対象数）に対する百分比（%）を表している。1人の対象に2つ以上の回答を求める設問では百分比（%）の合計は100%を超える。
- (2) 百分比（%）は、小数点第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
- (3) 前回調査・全国調査との比較については、比較する設問・選択肢の内容や選択条件（選択数など）が一致していないものもある。

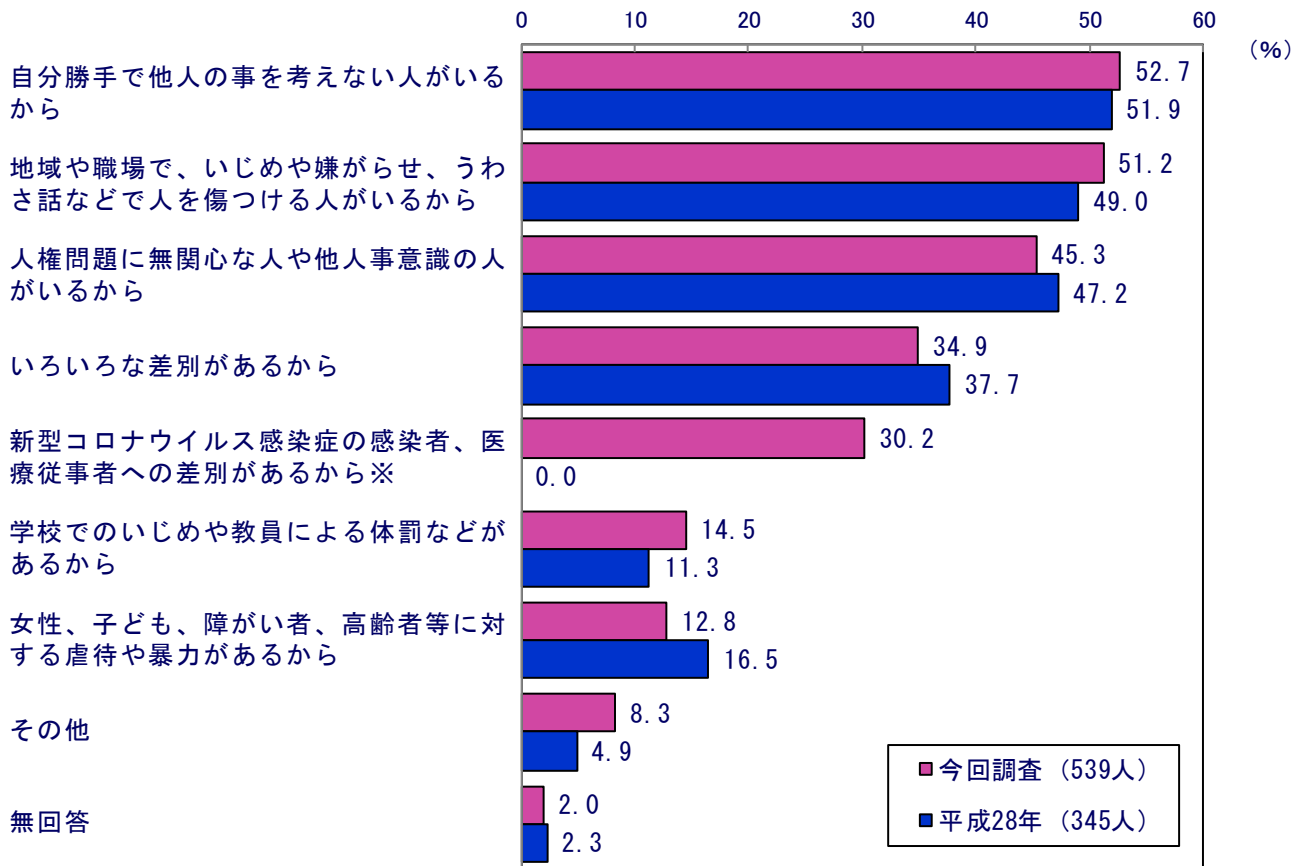
# 1 人権尊重社会に対する感じ方

## 1. 人権尊重社会に対する感じ方

問1. 今の島根県は、人権が尊重される社会になっていると思いますか。(○は1つ)



問1の2. 問1で「どちらかといえばそうは思わない」又は「そうは思わない」を選ばれた方におたずねします。そう思われた理由は何ですか。(〇はいくつでも)



※ 平成28年の調査では、「新型コロナウイルス感染症の感染者、医療従事者への差別があるから」はなかったため、0%となっている。

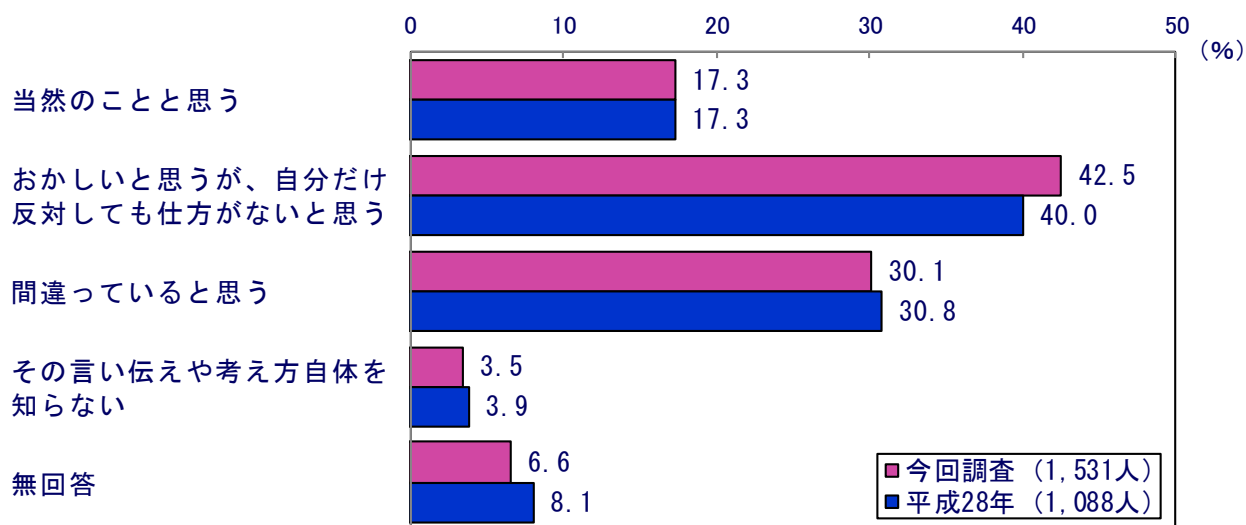


## 2 風習・慣習に対する意識

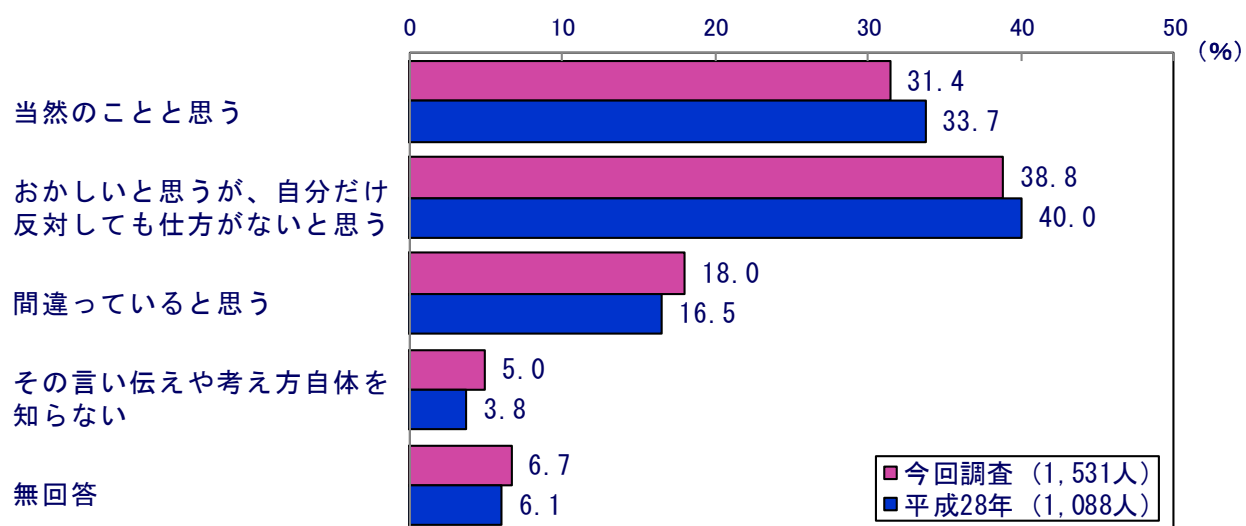
### 1. 風習・慣習に対する意識

問2. 日本には古くからの言い伝えや考え方がありますが、次の(1)～(5)について、あなたはどのように思いますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

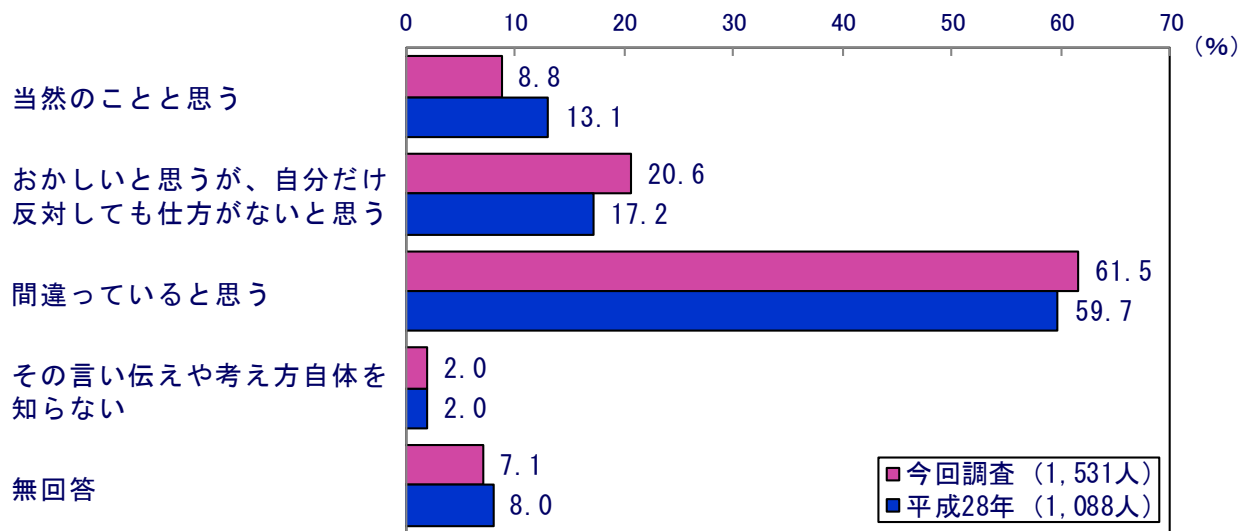
問2.(1) 結婚式は「大安」の日でないといく悪いという考え方



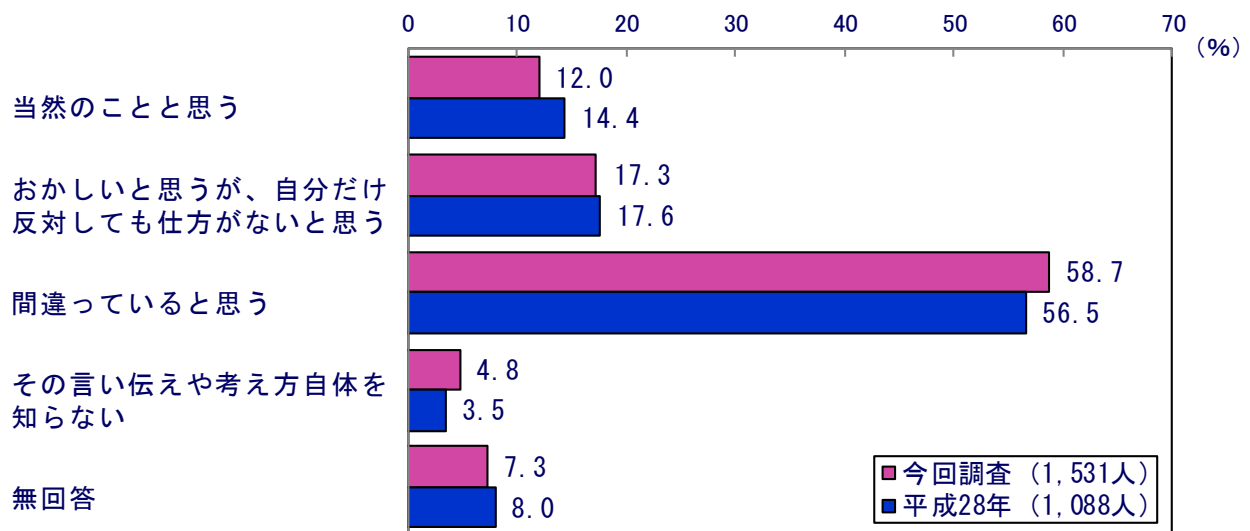
問2.(2) 葬儀は「友引」の日を避けるという考え方



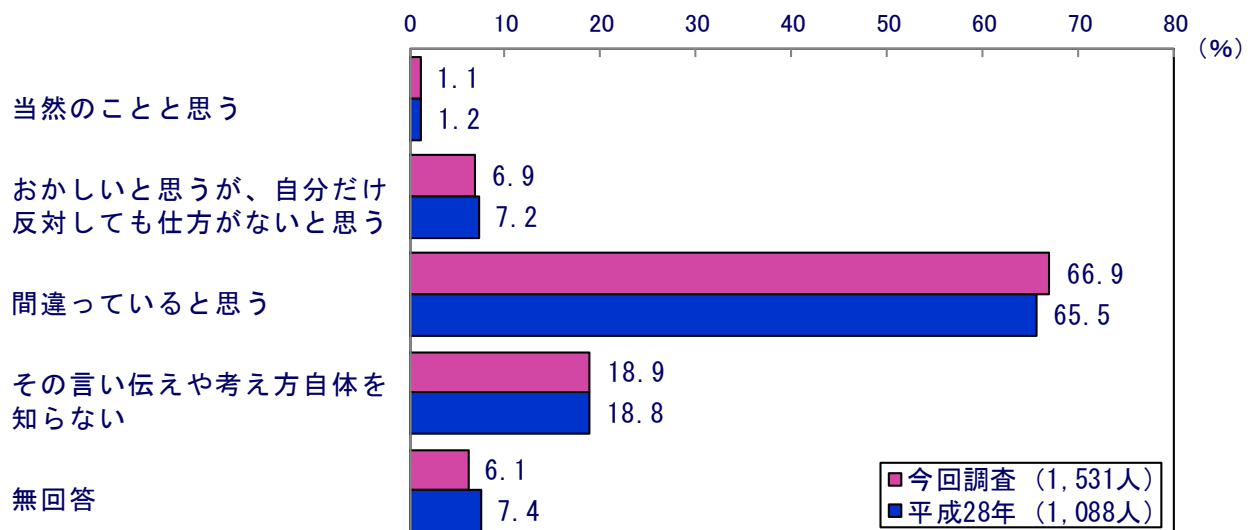
問2. (3) 結婚相手を決めるときに、家柄を気にすること



問2. (4) 結婚相手を決めるときに、相手方の身元調査をすること



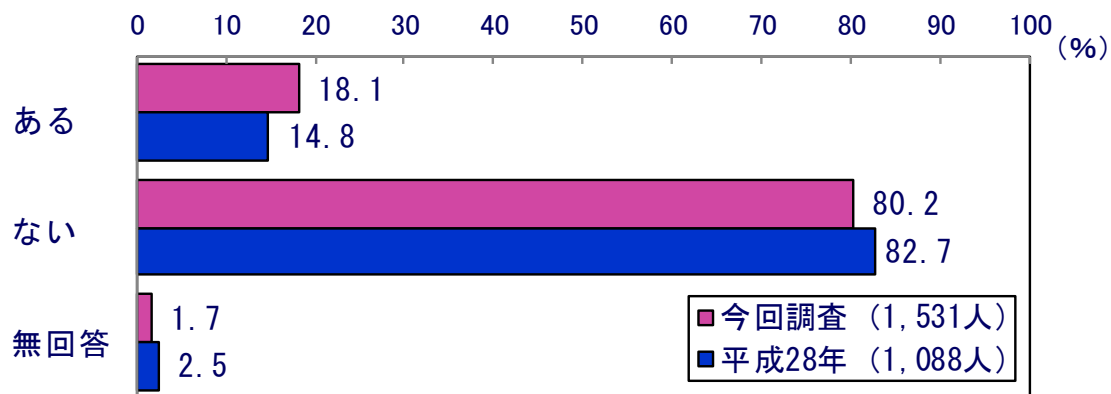
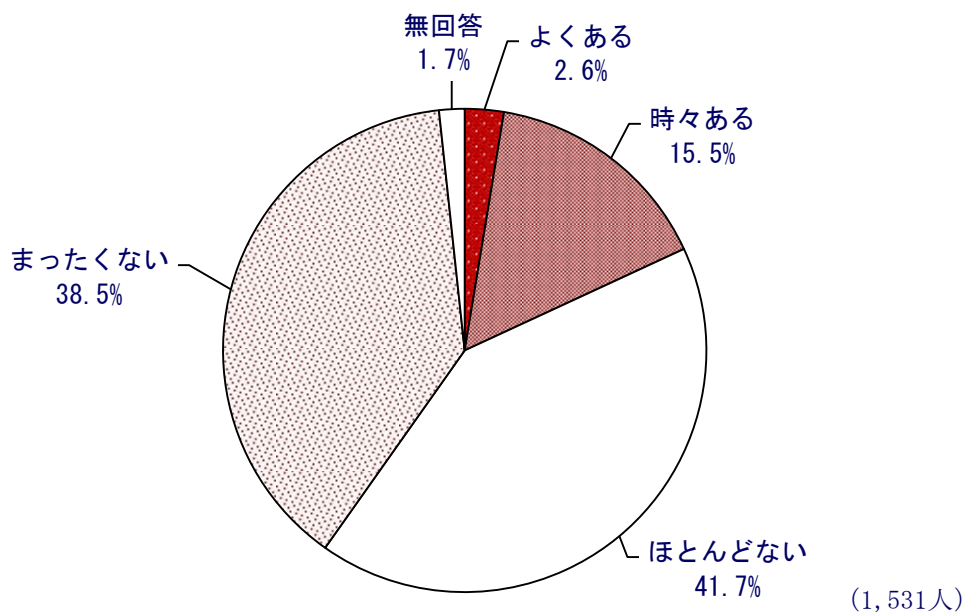
問2. (5) 「ひのえうま」の生まれということで、結婚することをいやがること



### 3 人権の知識・認識

#### 1. 差別や人権侵害を受けた経験

問3. 過去5年間ぐらいの間に、日常生活の中で、あなた自身が差別や人権侵害を受けたと感じたことがありますか。(〇は1つ)



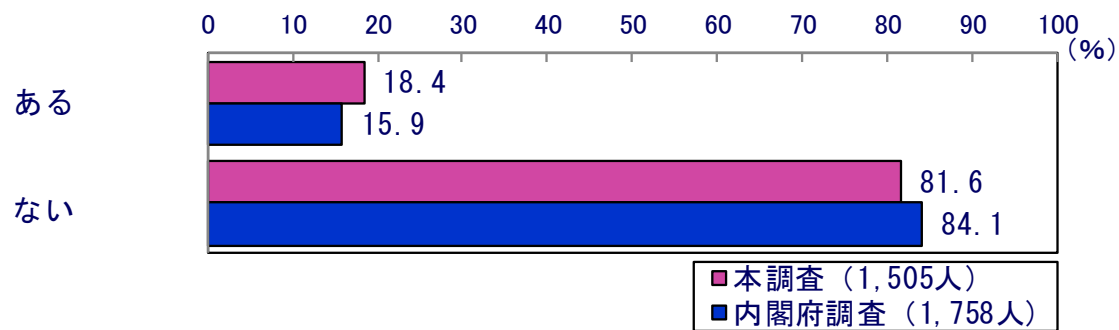
※ 平成28年の調査では、「ある」と「ない」という選択肢だったが、今回は、「よくある」と「時々ある」を合わせた割合を「ある」、「ほとんどない」と「まったくない」を合わせた割合を「ない」として比較した。

参考：全国調査との比較

内閣府「人権擁護に関する世論調査」（平成 29 年）

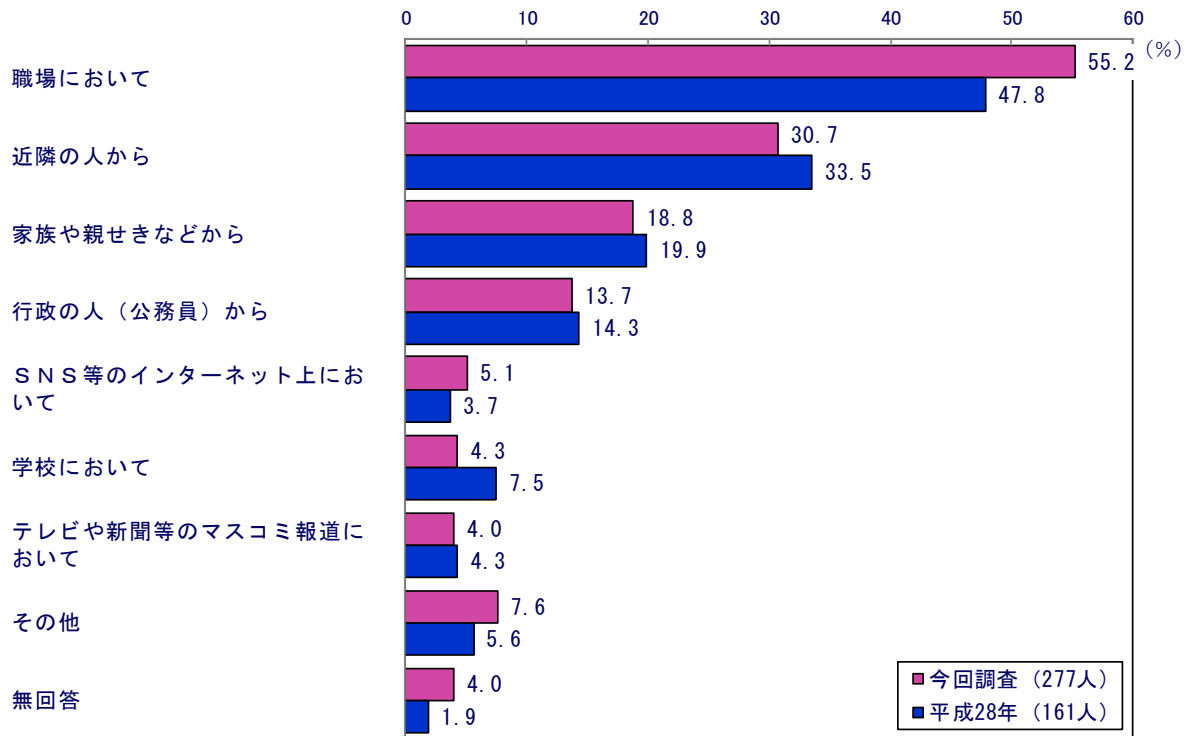
『Q3 あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか、それともそういうことはありませんか。』

\*内閣府調査結果が無回答を除く割合となっているため、本調査での結果も同様に無回答を除いた割合として比較した。



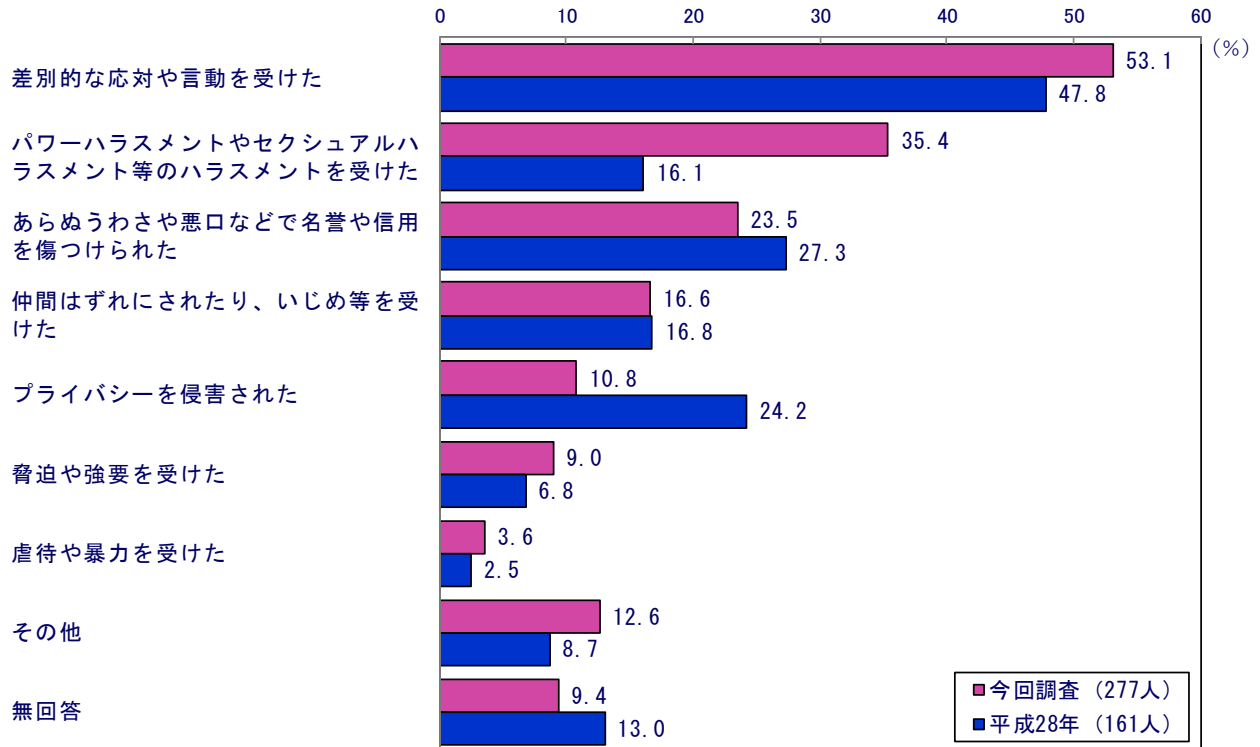
## 2.差別や人権侵害を受けた相手

問3の2. 問3で「よくある」または「時々ある」と回答された方におたずねします。  
それは、誰から（どこで）受けましたか。（〇はいくつでも）



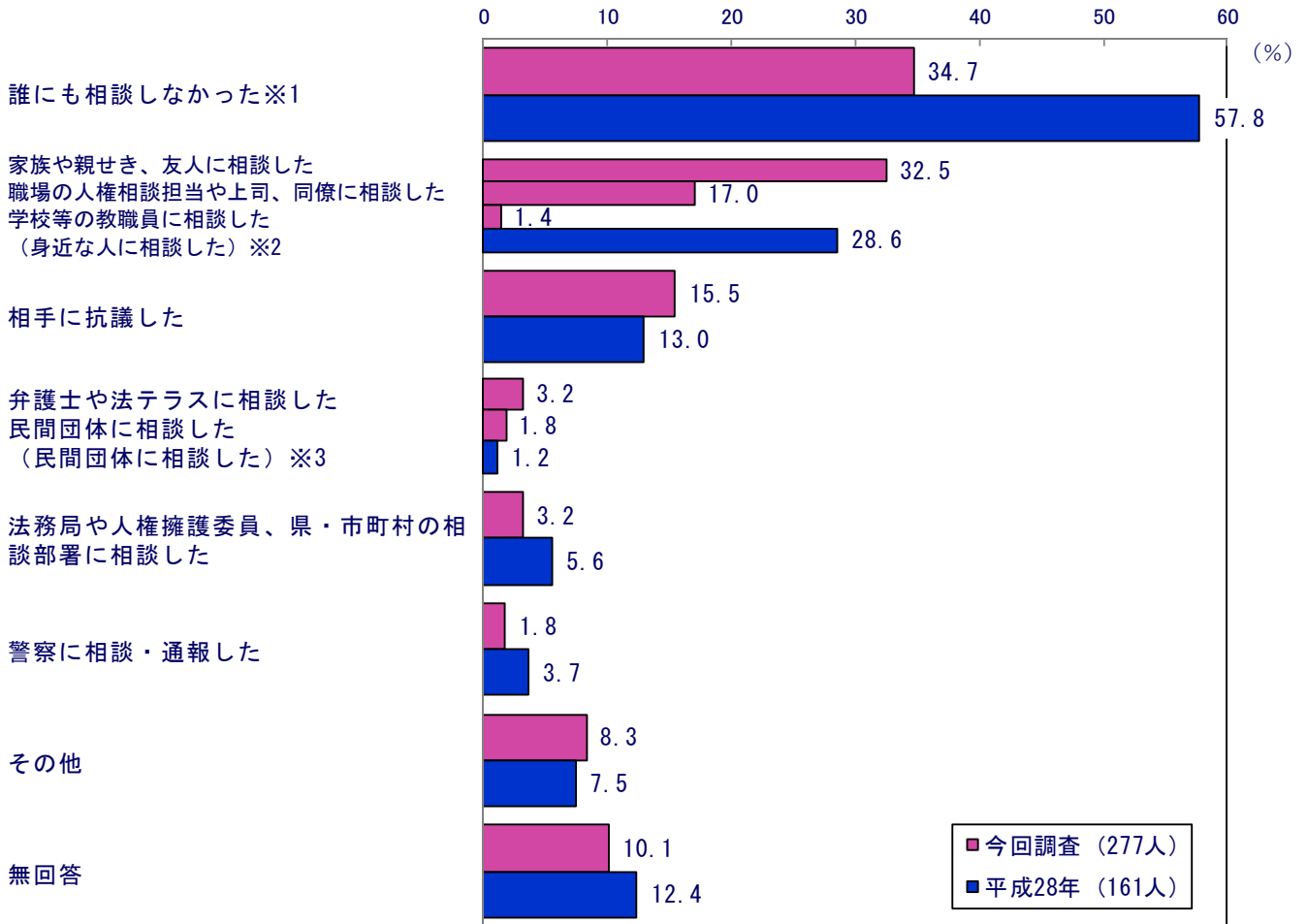
### 3. 受けた差別や人権侵害の内容

問3の3. 問3で「よくある」または「時々ある」と回答された方におたずねします。  
それは、どのような差別や人権侵害を受けましたか。(〇はいくつでも)



#### 4.差別や人権侵害を受けたときの対応

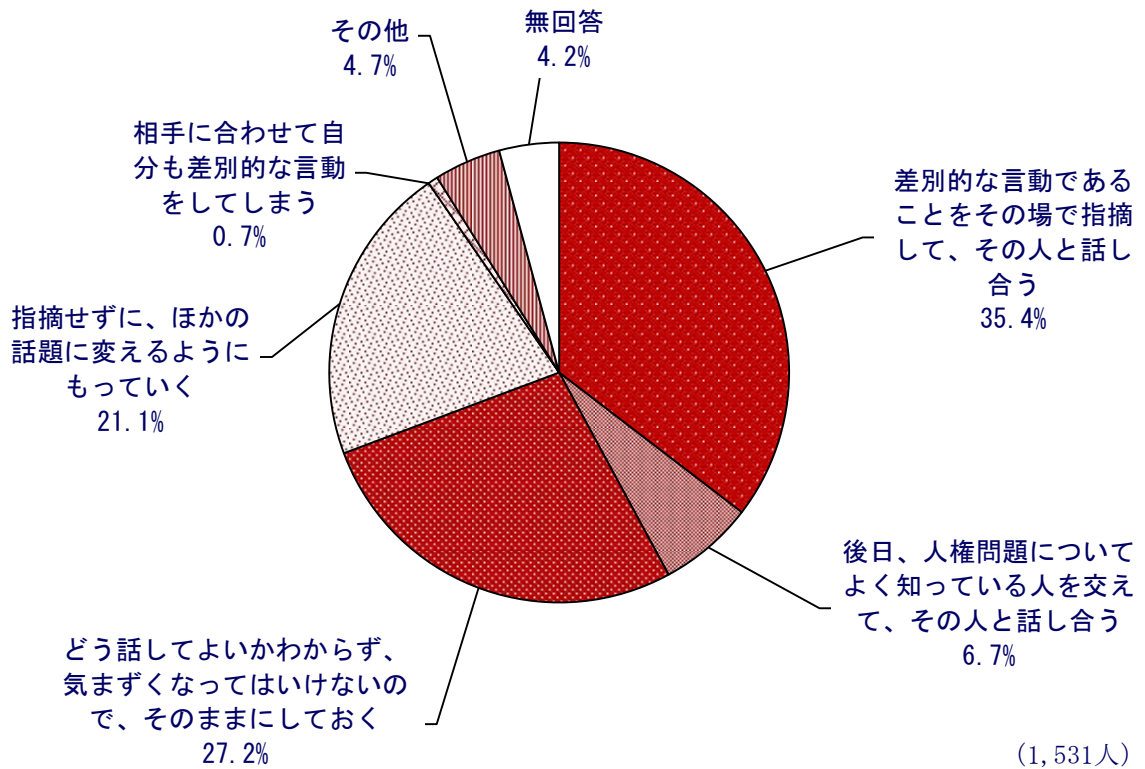
問3の4. 問3で「よくある」または「時々ある」と回答された方におたずねします。  
そのとき、あなたはどのようにしましたか。(〇はいくつでも)



- ※1 平成28年の調査では、「だまっけてがまんした」としたが、今回は「誰にも相談しなかった」とした。
- ※2 平成28年の調査では、「身近な人に相談した」としたが、今回は「家族や親せき、友人に相談した」、「職場の人権相談担当や上司、同僚に相談した」、「学校等の教職員に相談した」とした。
- ※3 平成28年の調査では、「民間団体に相談した」としたが、今回は同選択肢に、「弁護士や法テラスに相談した」を加えた。

## 5. 身近な人が差別的な言動をしたときの対応

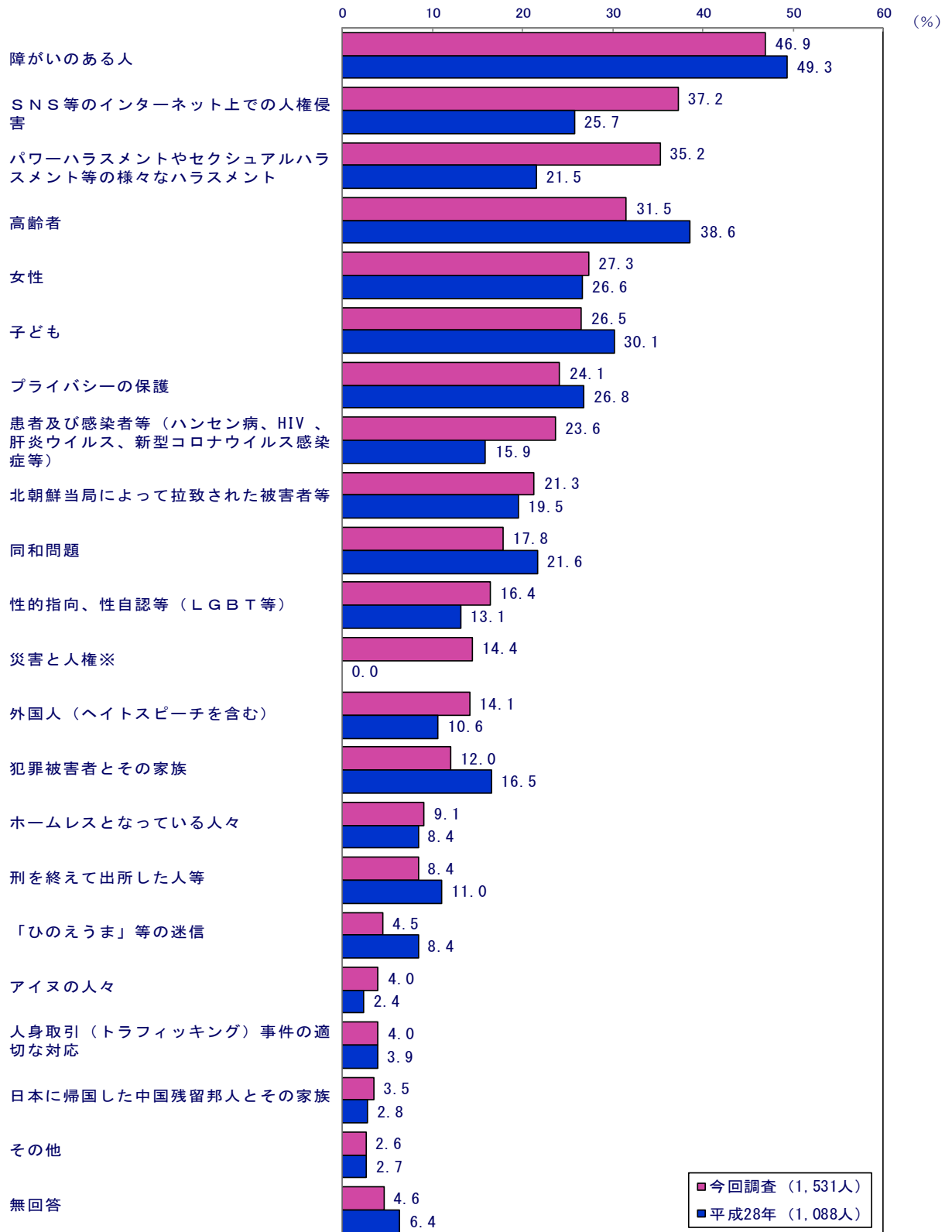
問4. あなたの身近な人が、差別的な言動をしたとしたら、あなたはどのようにしますか。  
(○は1つ)





## 6. 人権課題への関心

問5. あなたは、現在どんな人権課題に関心を持っていますか。(〇はいくつでも)



※ 平成28年の調査では、「災害と人権」はなかったため、0%となっている。

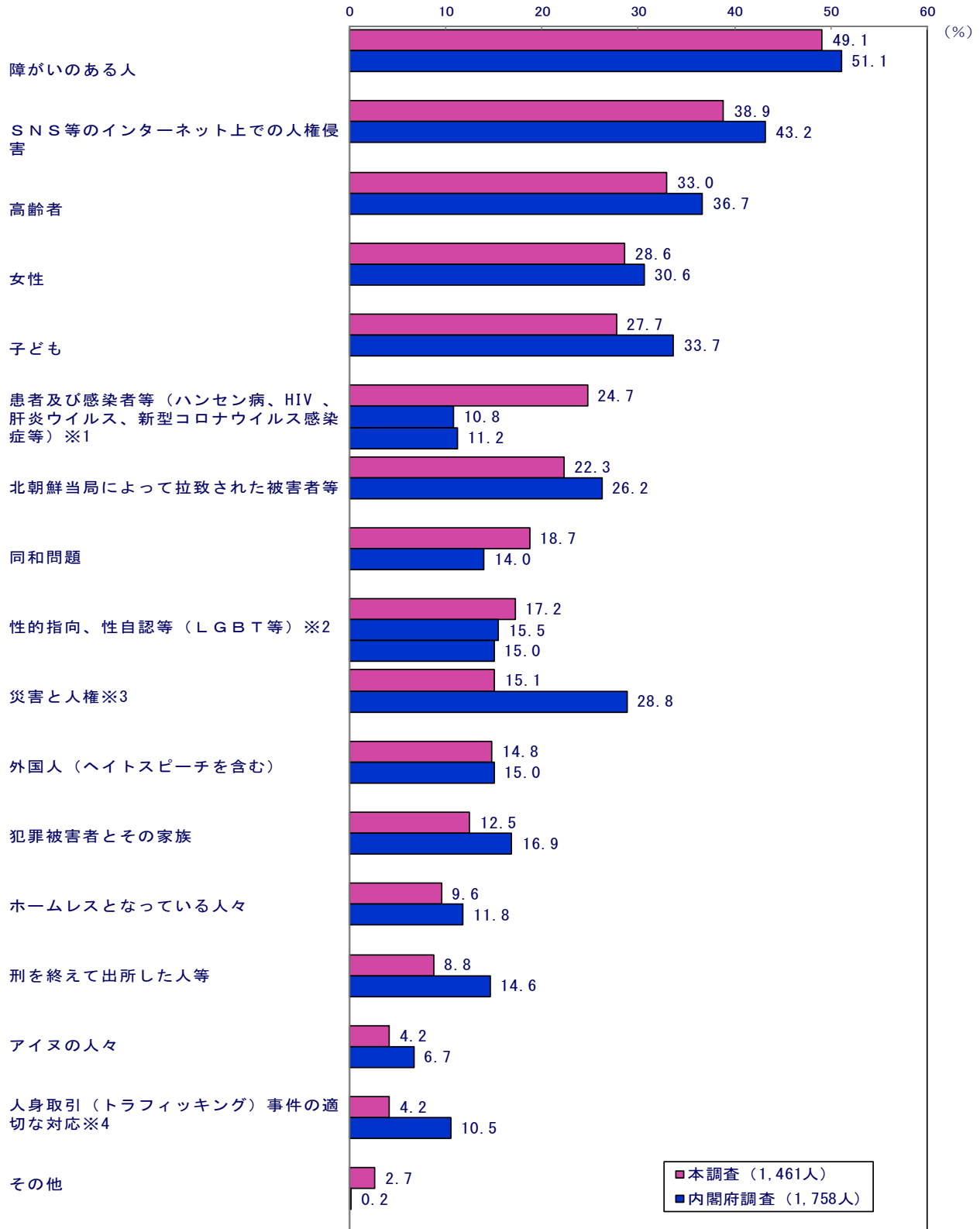
参考：全国調査との比較

内閣府「人権擁護に関する世論調査」（平成 29 年）

『Q 5 日本における人権課題について、あなたの関心があるものはどれですか。この中からいくつでもあげてください。』

\*内閣府調査結果が無回答を除く割合となっているため、本調査での結果も同様に無回答を除いた割合として比較した。

\*内閣府調査と本調査で一致している項目についてのみ、記載している。

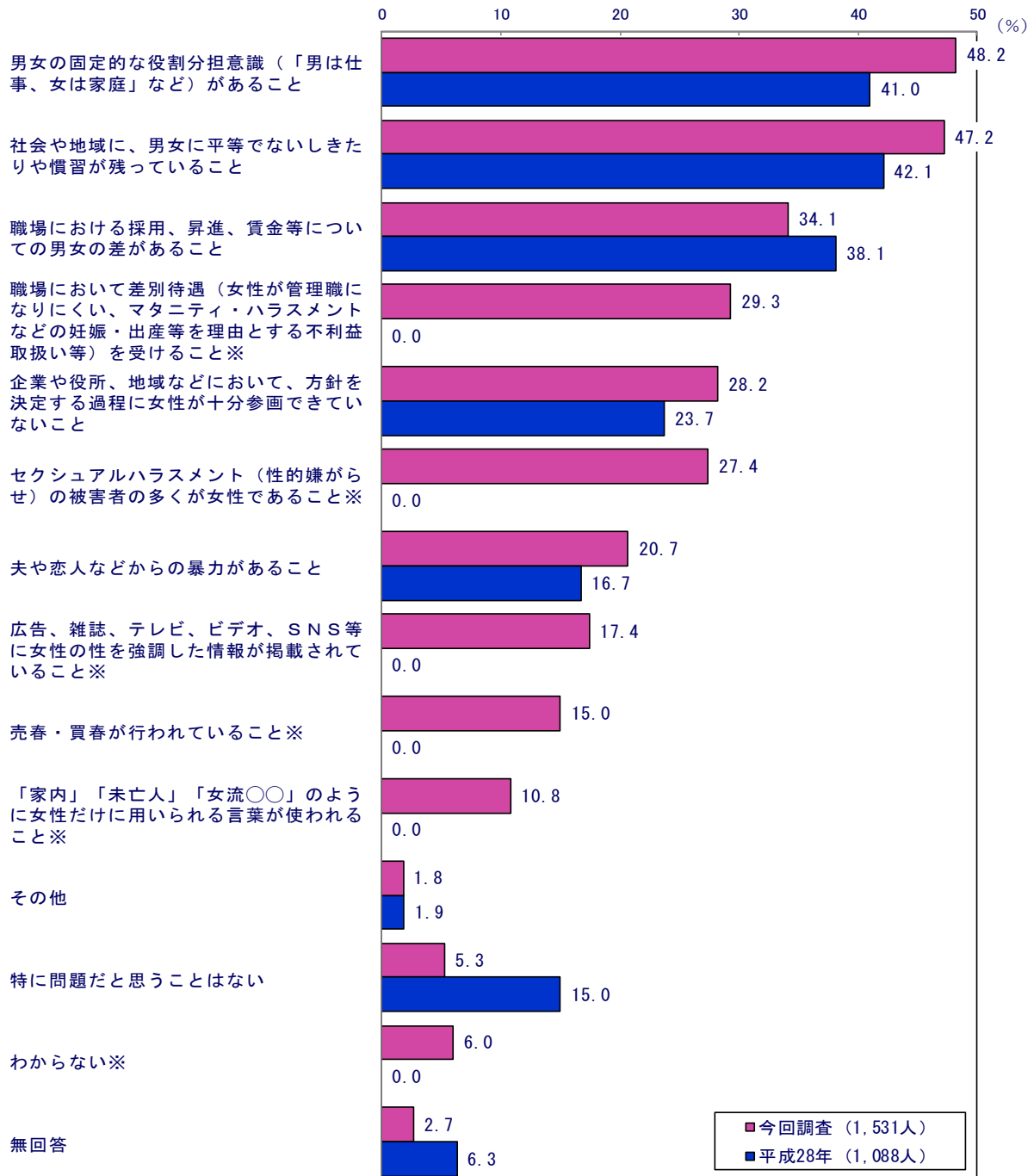


- ※1 内閣府調査では、「H I V感染者等 (10.8%)」「ハンセン病患者・回復者等 (11.2%)」となっていた。
- ※2 内閣府調査では、「性同一性障害者(生物学的な性と性自認(こころの性)が一致しない者(15.5%)」、「性的指向(異性愛、同性愛、両性愛)(15.0%)」となっていた。
- ※3 内閣府調査では、「東日本大震災に伴う人権問題」となっていた。
- ※4 内閣府調査では、「人身取引(性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引)」となっていた。

## 4 女性の人権について

### 1. 女性に関する人権上の問題

問6. 女性の人権について、特にどのようなことが問題だと思いますか。  
(〇はいくつでも)

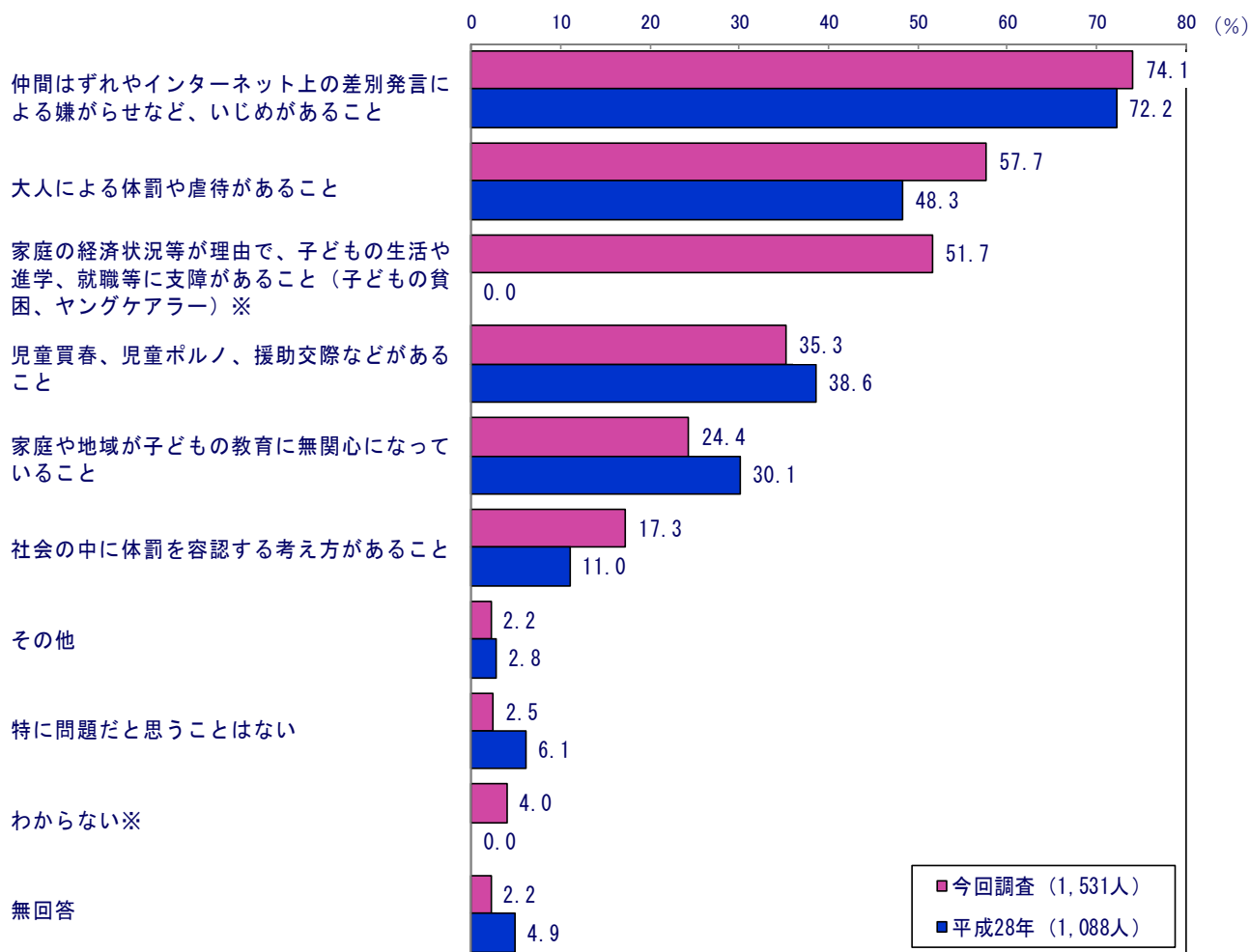


※ 平成28年の調査では、「職場において差別待遇（女性が管理職になりにくい、マタニティ・ハラスメントなどの妊娠・出産等を理由とする不利益取扱い等）を受けること」、「セクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）の被害者の多くが女性であること」、「広告、雑誌、テレビ、ビデオ、SNS等に女性の性を強調した情報が掲載されていること」、「売春・買春が行われていること」、「家内」「未亡人」「女流〇〇」のように女性だけに用いられる言葉が使われること」、「わからない」はなかったため、0%となっている。

## 5 子どもの人権について

### 1. 子どもに関する人権上の問題

問7. 子どもの人権について、特にどのようなことが問題だと思いますか。  
(〇はいくつでも)

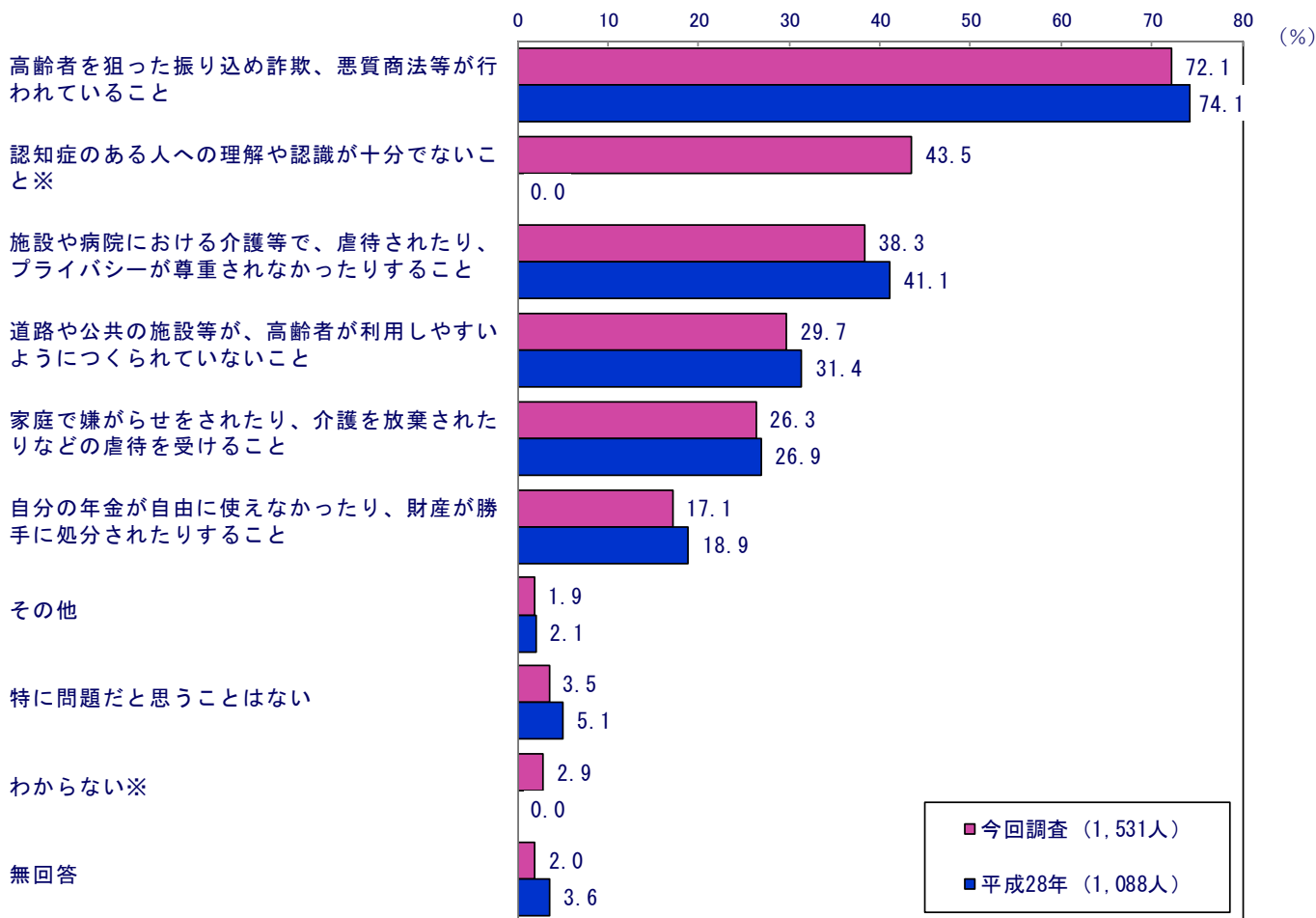


※ 平成28年の調査では、「家庭の経済状況等が理由で、子どもの生活や進学、就職等に支障があること (子どもの貧困、ヤングケアラー)」と「わからない」はなかったため、0%となっている。

## 6 高齢者の人権について

### 1. 高齢者に関する人権上の問題

問8. 高齢者の人権について、特にどのようなことが問題だと思えますか。  
(〇はいくつでも)

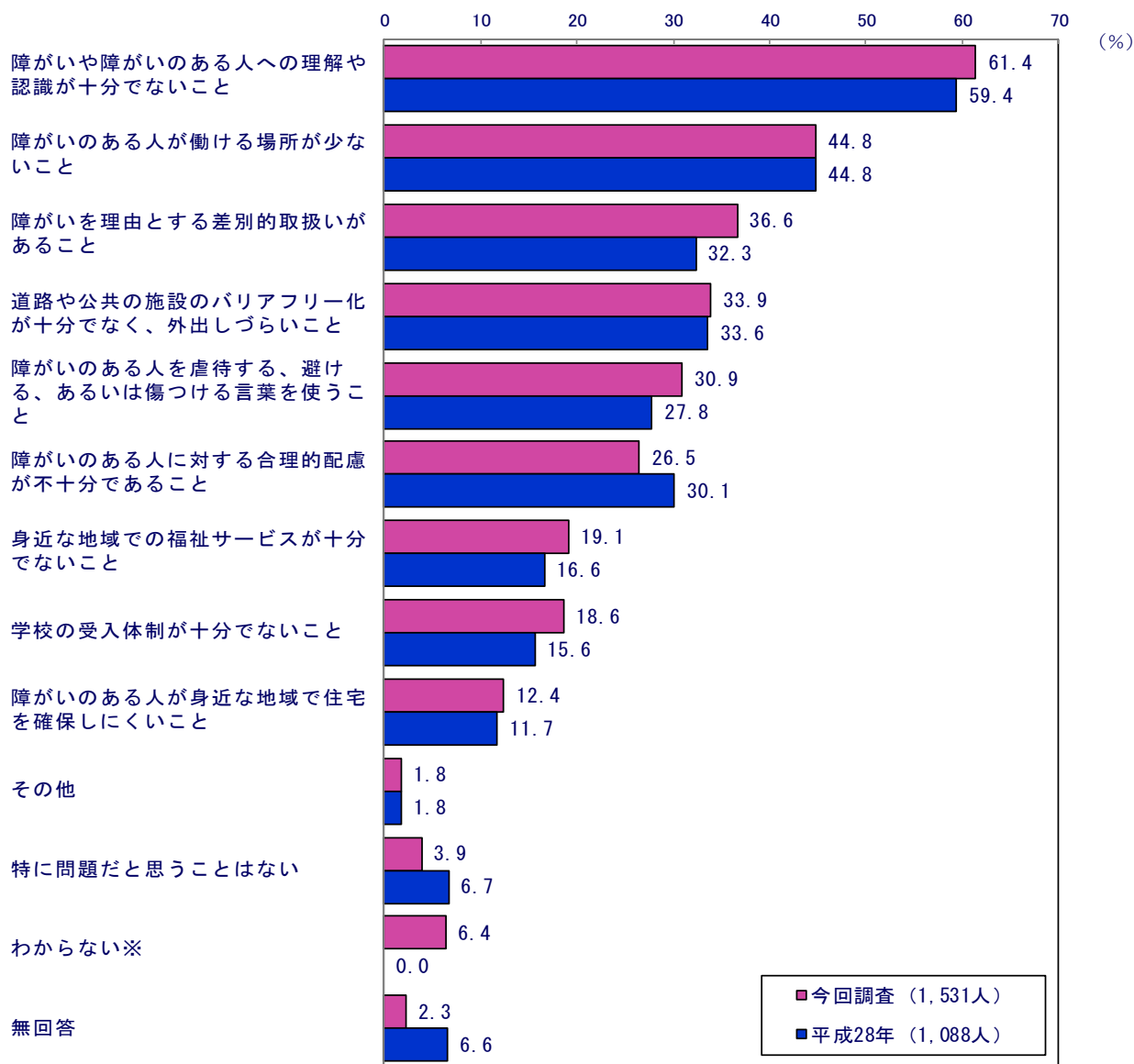


※ 平成28年の調査では、「認知症のある人への理解や認識が十分でないこと」と「わからない」はなかったため、0%となっている。

## 7 障がいのある人の人権について

### 1. 障がいのある人に関する人権上の問題

問9. 障がいのある人の人権について、特にどのようなことが問題だと思えますか。  
(〇はいくつでも)

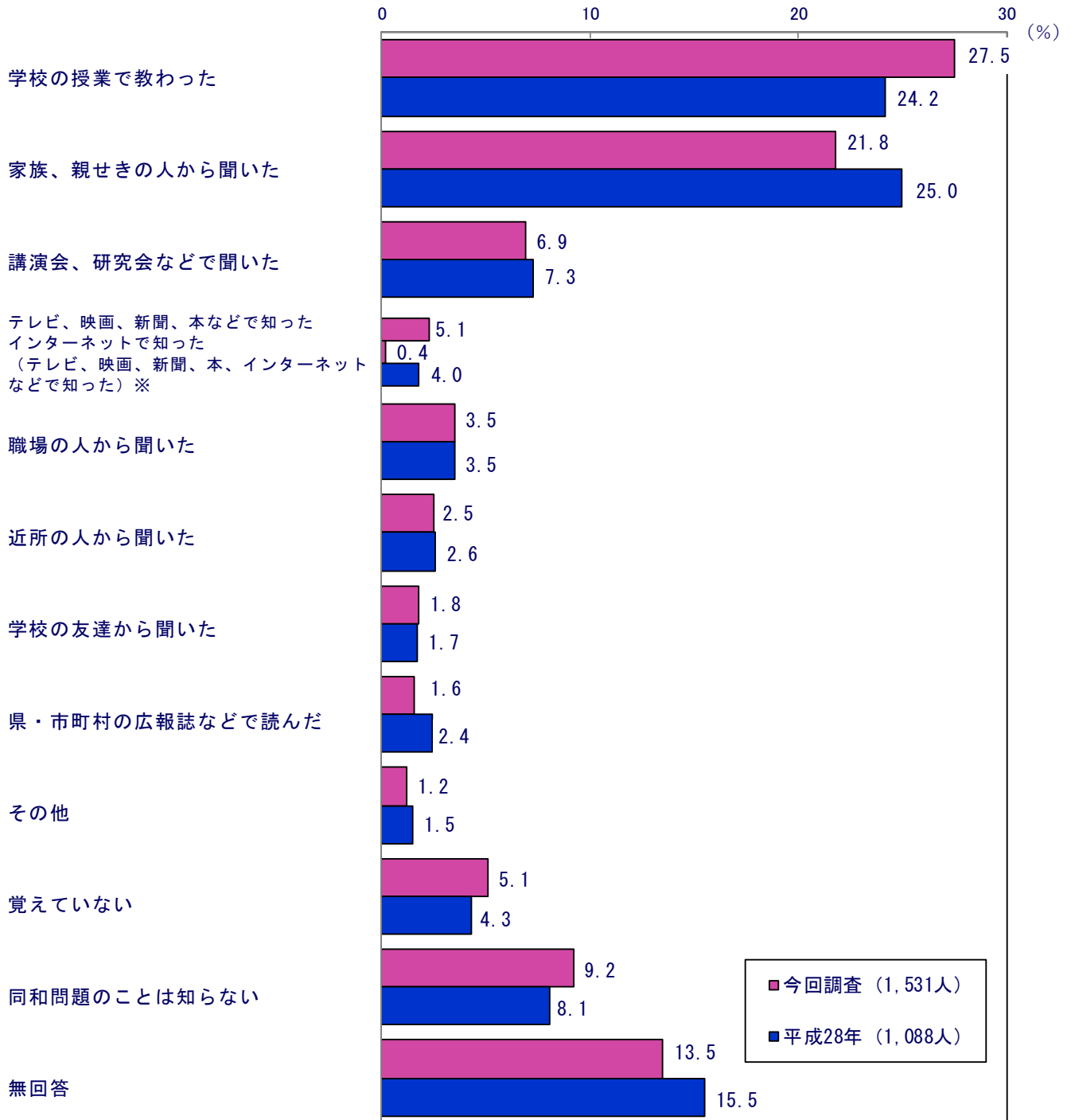


※ 平成28年の調査では、「わからない」はなかったため、0%となっている。

## 8 同和問題について

### 1. 同和問題の認知経路

問 10. 同和問題について初めて知ったのは、どのようなことがきっかけでしたか。  
(○は1つ)



※ 平成 28 年の調査では、「テレビ、映画、新聞、本、インターネットなどで知った」としたが、今回は「テレビ、映画、新聞、本などで知った」、「インターネットで知った」とした。



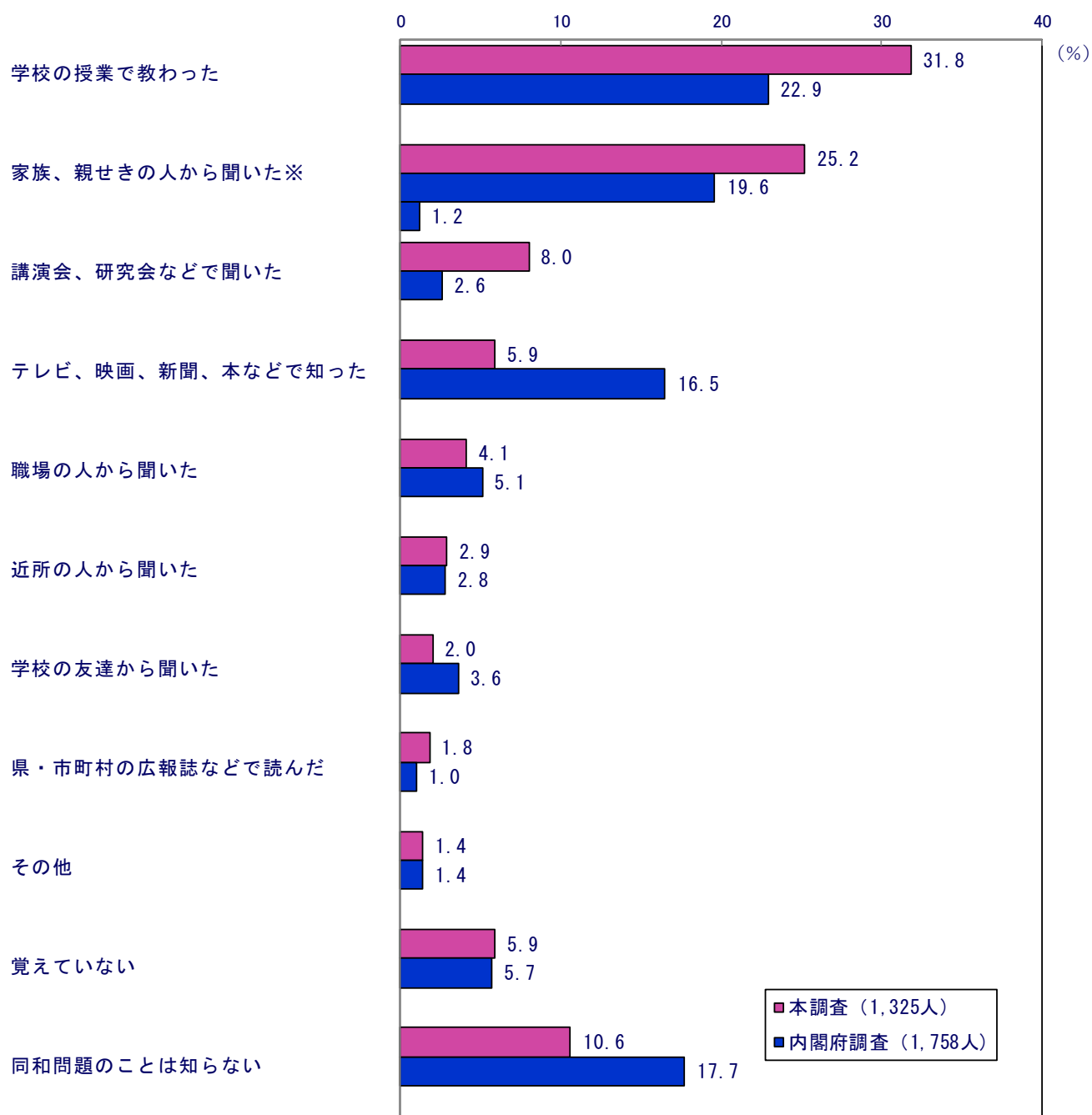
参考：全国調査との比較

内閣府「人権擁護に関する世論調査」（平成 29 年）

『Q 1 0 あなたは、部落差別等の同和問題について、初めて知ったきっかけは、何からですか。この中から 1 つだけお答えください。』

\*内閣府調査結果が無回答を除く割合となっているため、本調査での結果も同様に無回答を除いた割合として比較した。

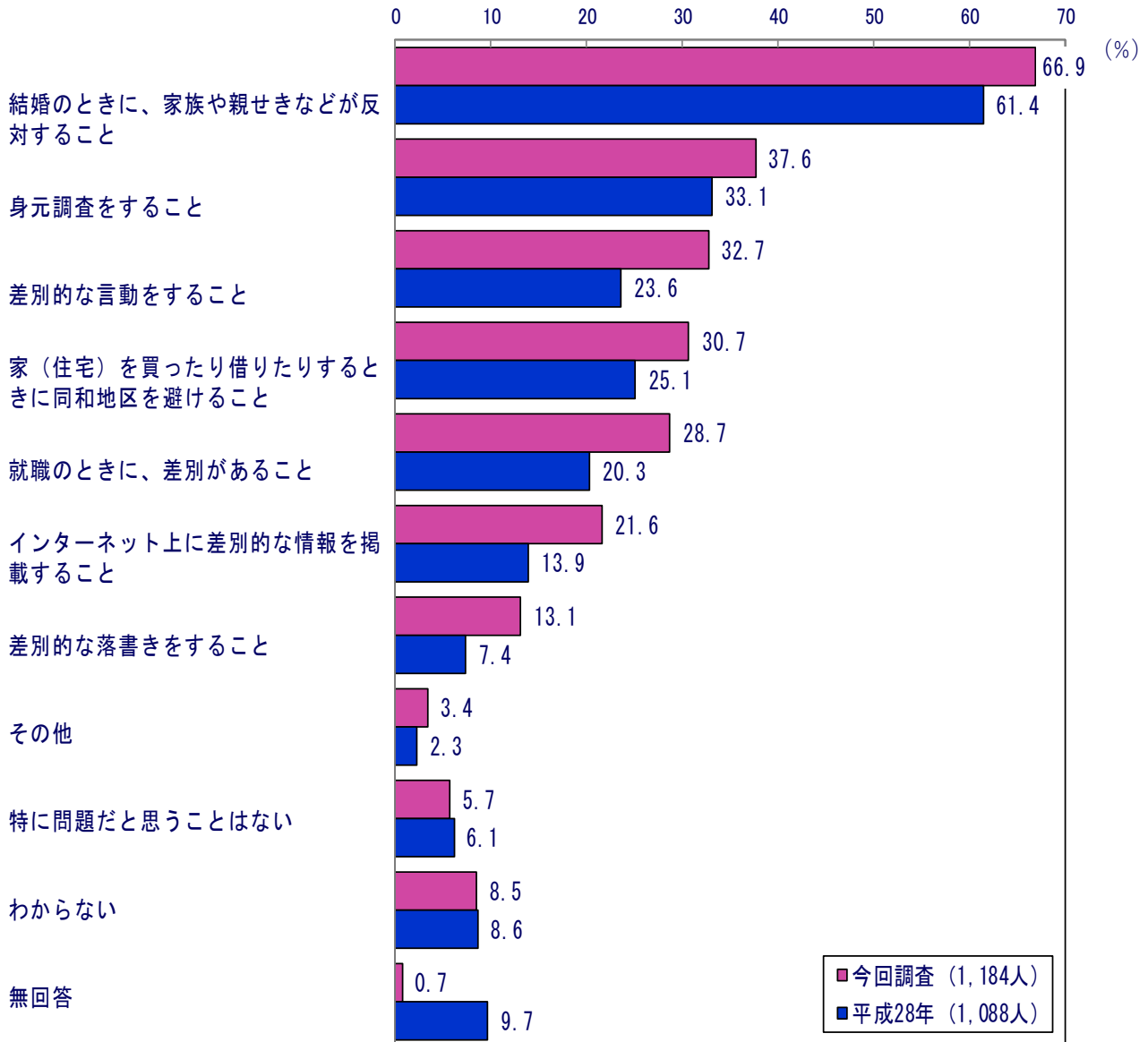
\*内閣府調査と本調査で一致している項目についてのみ、記載している。



※ 内閣府調査では、「家族(祖父母、父母、兄弟等)から聞いた(19.6%)」、「親戚の人から聞いた(1.2%)」となっていた。

## 2. 同和問題に関する人権上の問題

問 11. 同和問題について、特にどのようなことが問題だと思えますか。  
(○はいくつでも)



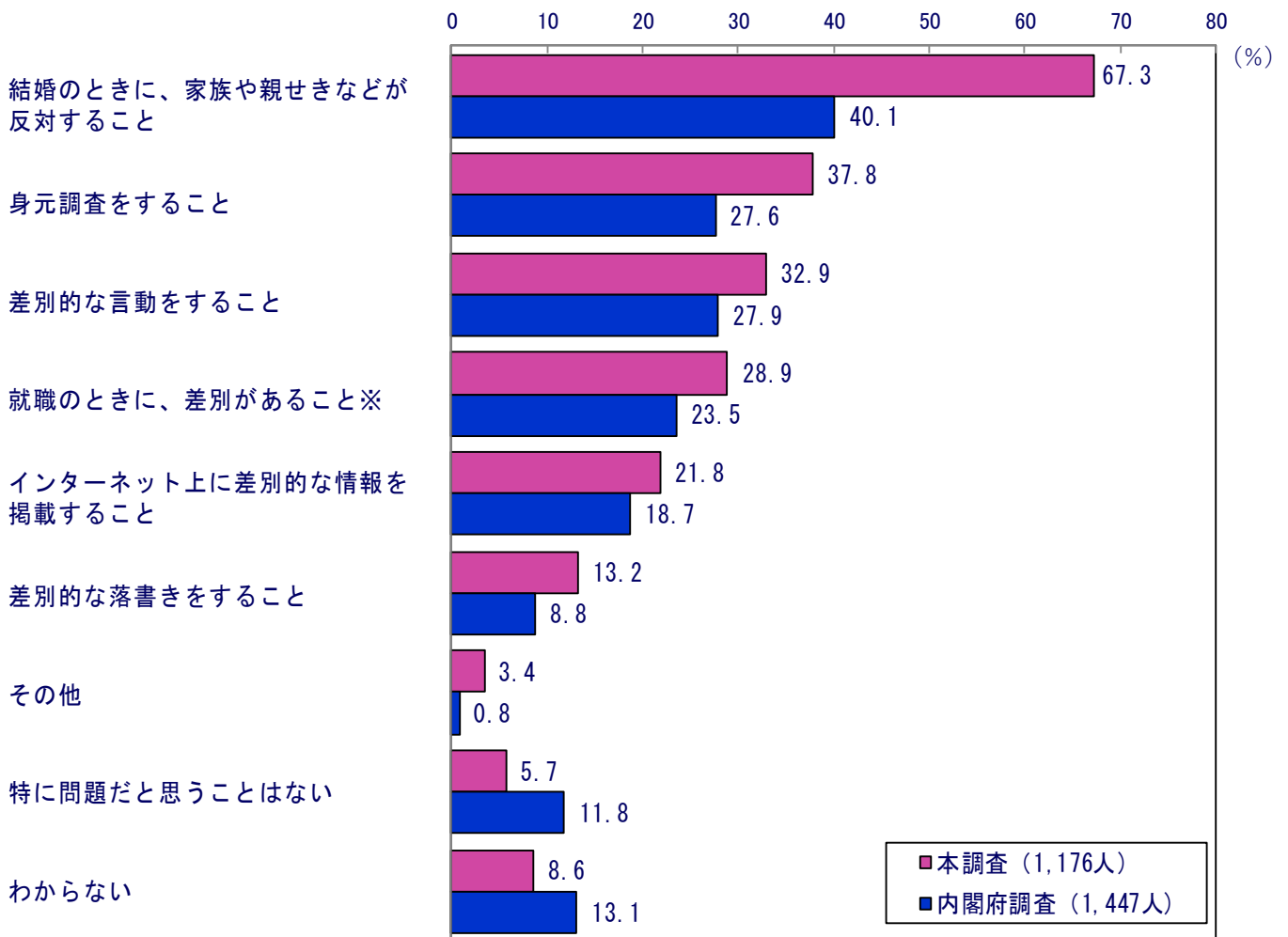
参考：全国調査との比較

内閣府「人権擁護に関する世論調査」（平成 29 年）

『Q10SQ あなたは、部落差別等の同和問題に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。この中からいくつでもあげてください。』（付属する設問で、同和問題について、「知っている」と答えた人のみ回答）

\*内閣府調査結果が無回答を除く割合となっているため、本調査での結果も同様に無回答を除いた割合として比較した。

\*内閣府調査と本調査で一致している項目についてのみ、記載している。

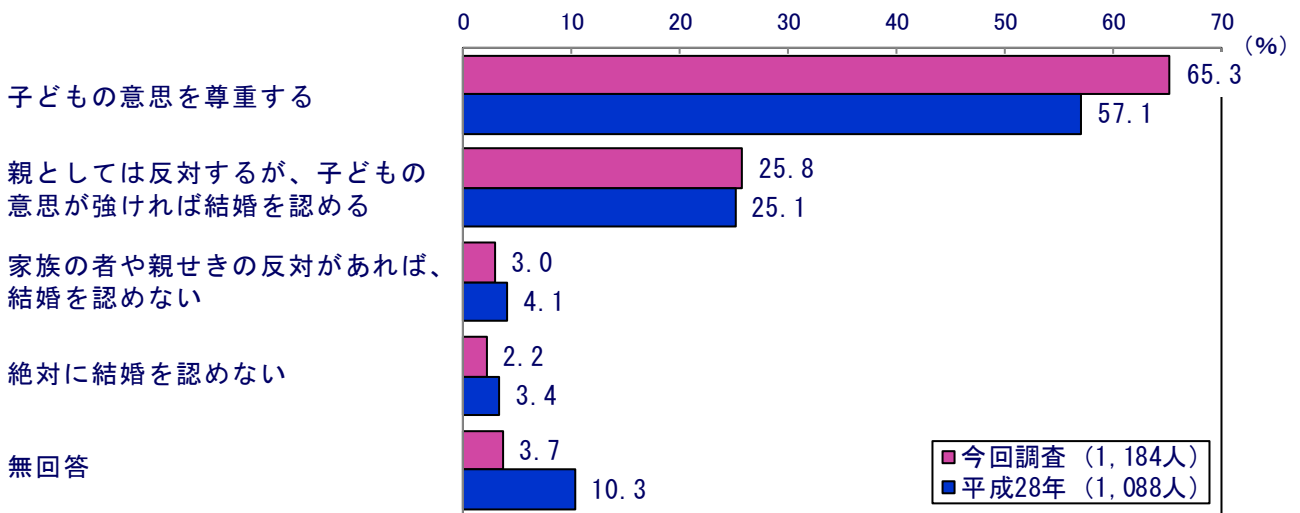
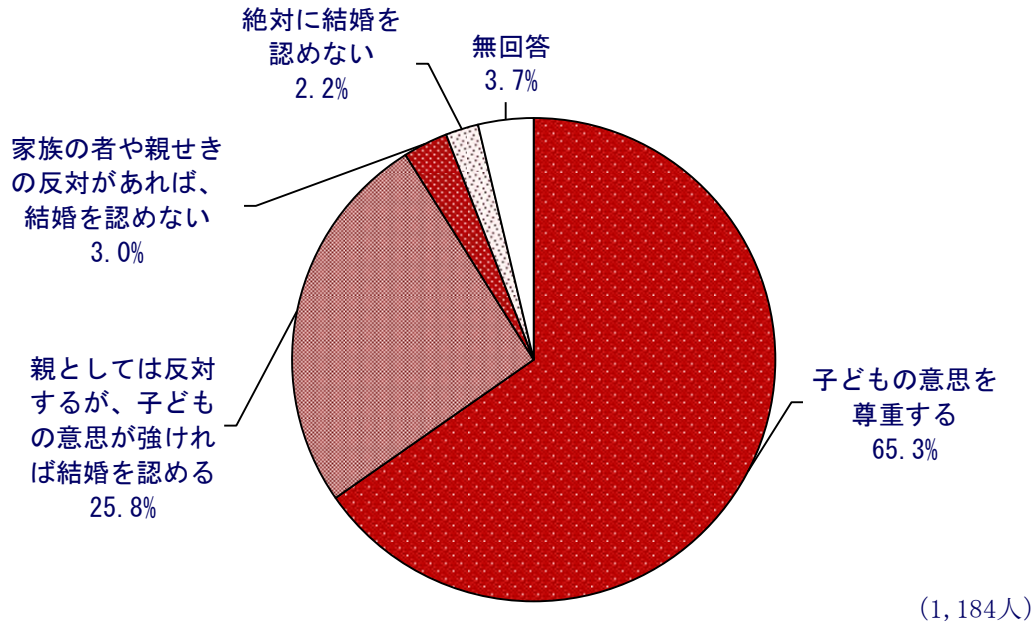


※ 内閣府調査では、「就職・職場で不利な扱いを受けること」となっていた。

### 3. 子どもの同和地区出身者との結婚

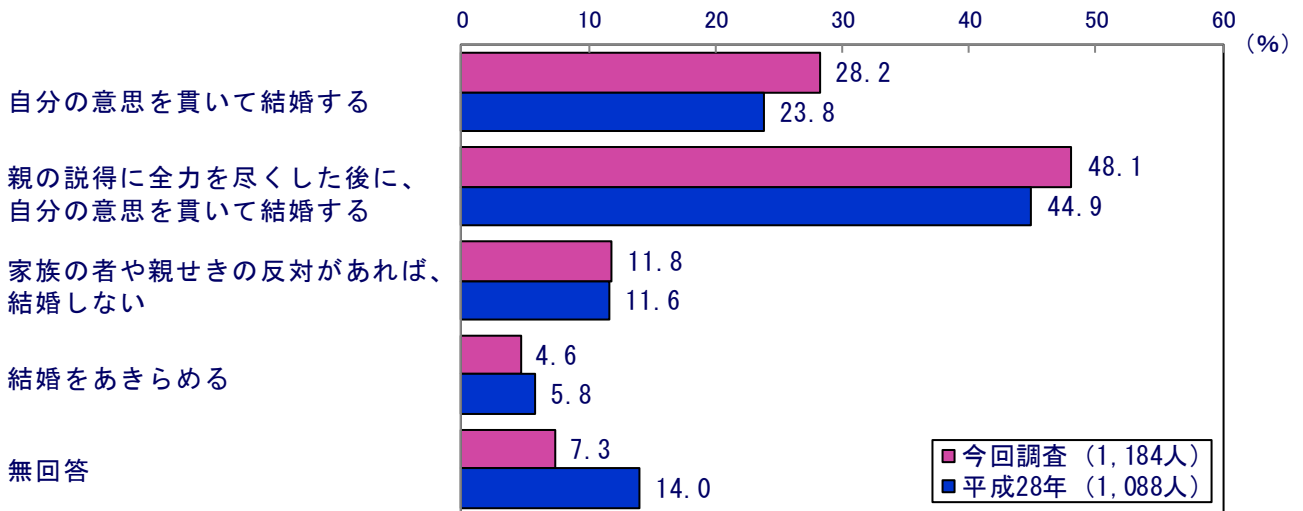
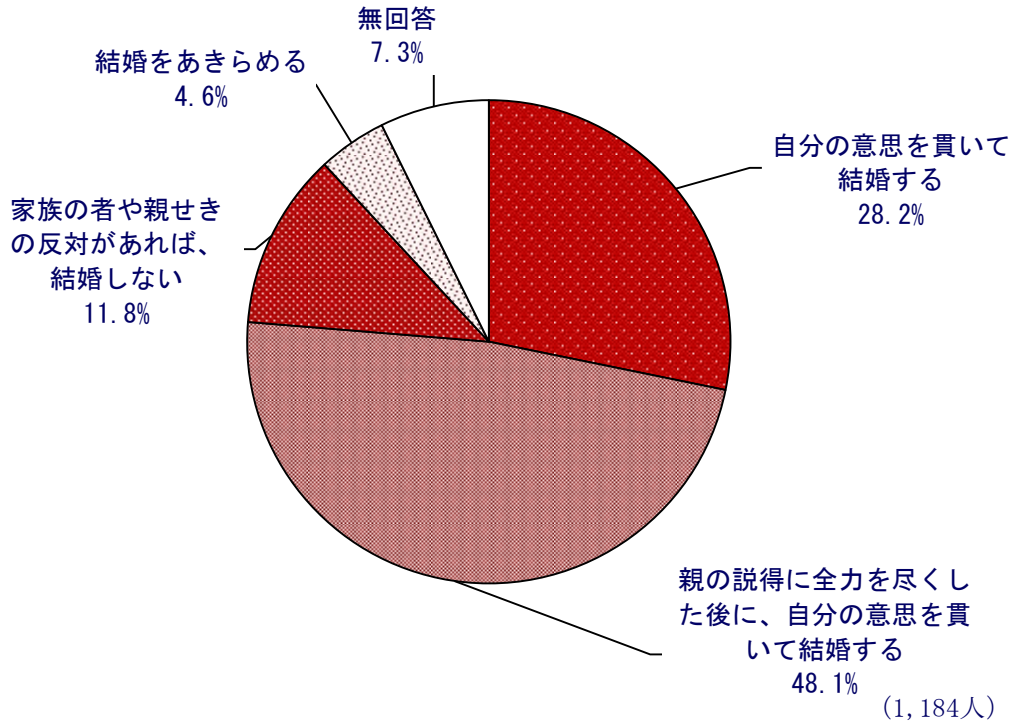
問 12. 結婚についておたずねします。【(1) (2) ともにお答えください】

(1) 仮に、あなたのお子さんが同和地区の人と知り合い、結婚しようとしたとき、あなたはどのようにしますか。(〇は1つ)



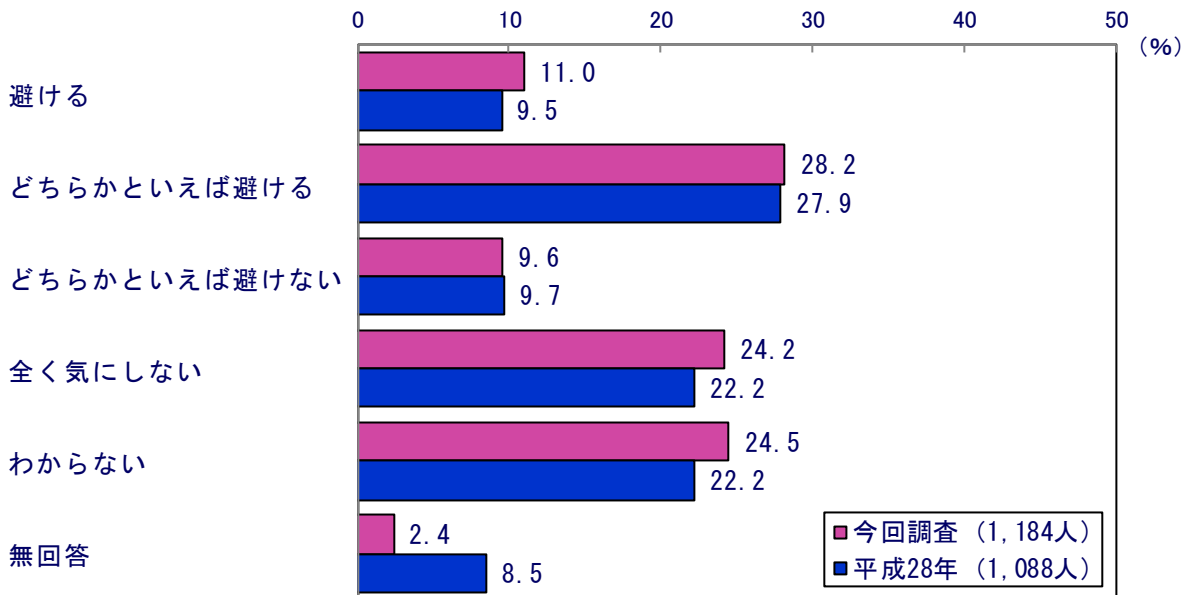
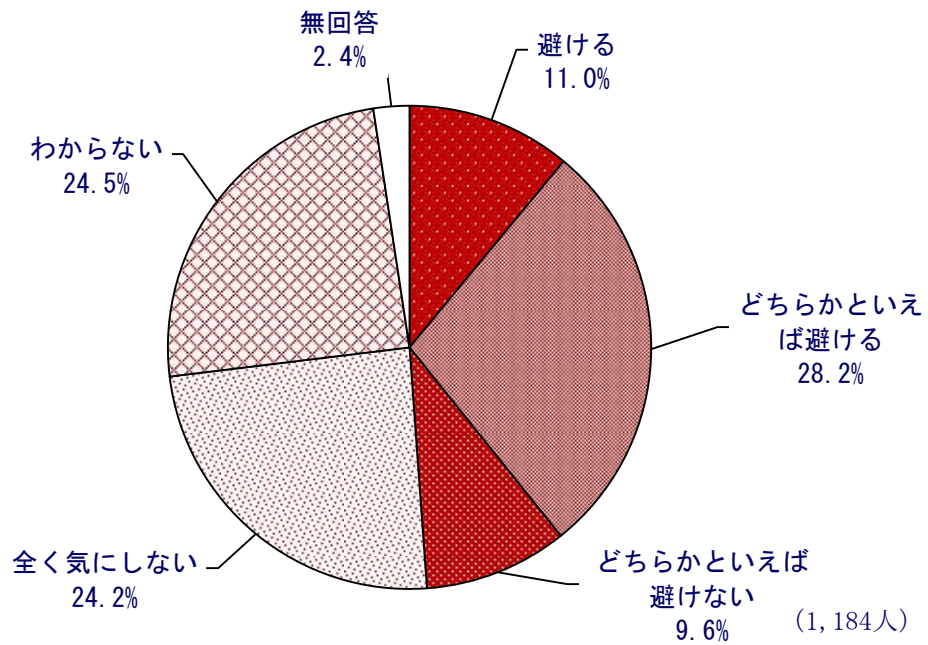
## 4. 同和地区出身者との結婚

(2) 仮に、あなたが同和地区の人と知り合い、結婚しようとしたとき、親や親せきから強い反対を受けた場合、あなたはどのようにしますか。(〇は1つ)



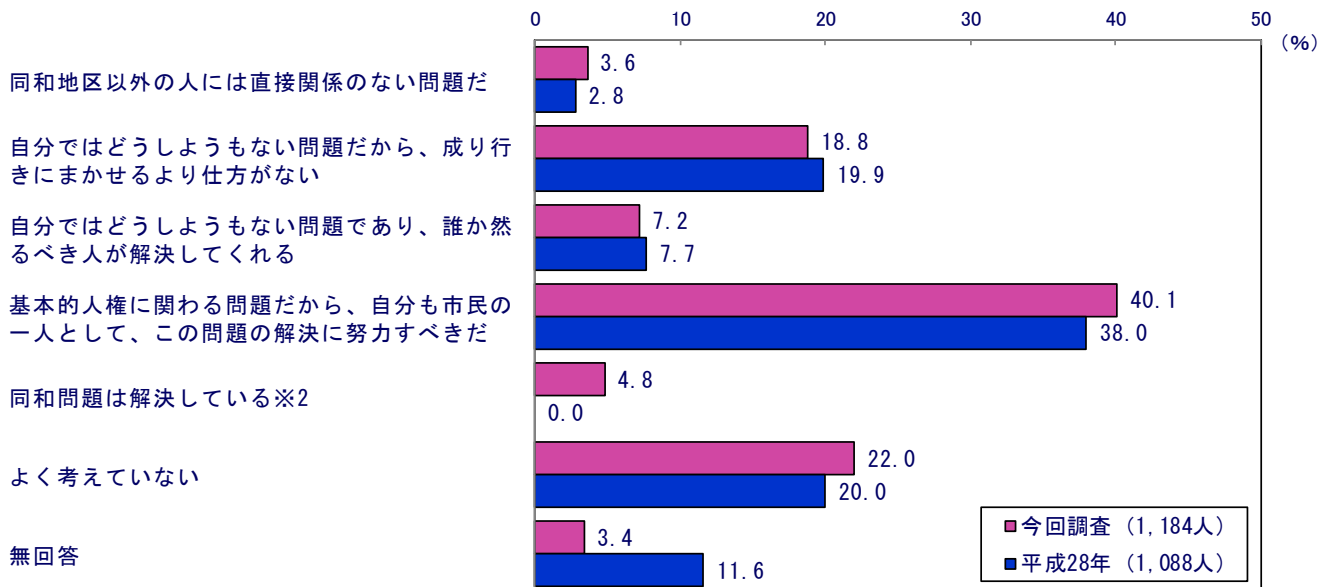
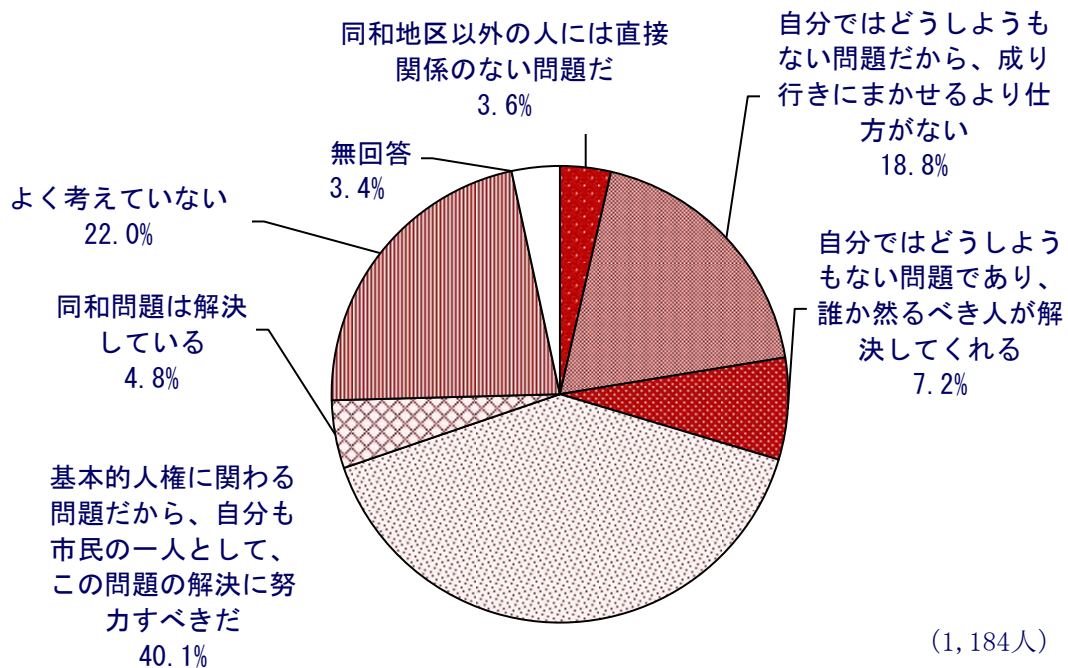
## 5. 同和地区にある家（住宅）の購入

問 13. 仮に、あなたが家（住宅）を購入しようとした際に、価格や立地条件などが希望にあっても、その物件が同和地区にあるとわかったら、あなたはどのようにしますか。（○は1つ）



## 6. 同和問題に対する考え

問 14. 同和問題は、あなたにとってどんな問題ですか。(〇は1つ) ※1

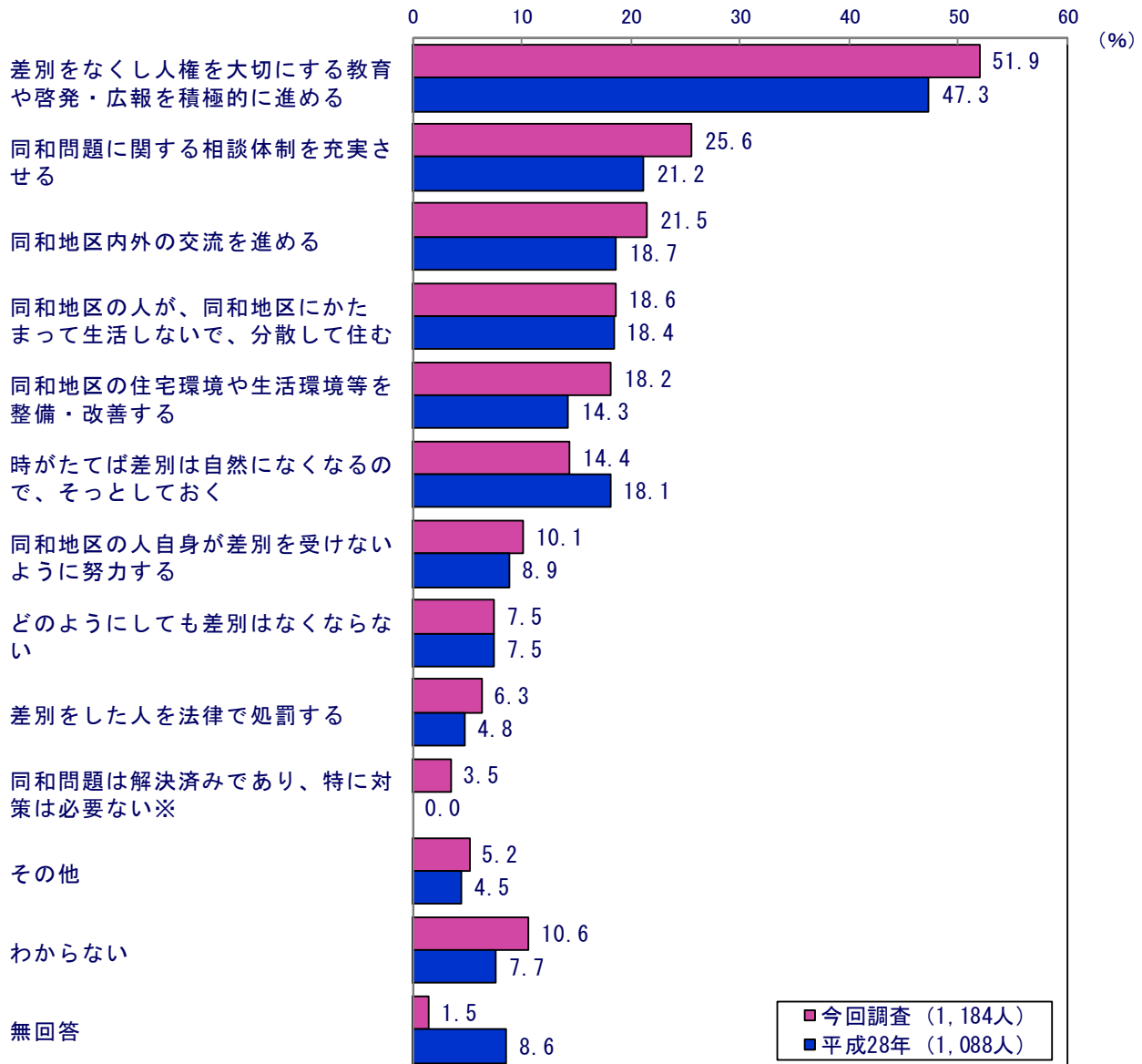


※1 平成28年の調査の設問は、「同和問題の解決に対するあなたの考えはhowですか」としていた。

※2 平成28年の調査では、「同和問題は解決している」はなかったため、0%となっている。

## 7. 同和問題の解決に必要なこと

問 15. 同和問題を解決するためには、どうしたらよいと思いますか。(〇はいくつでも)



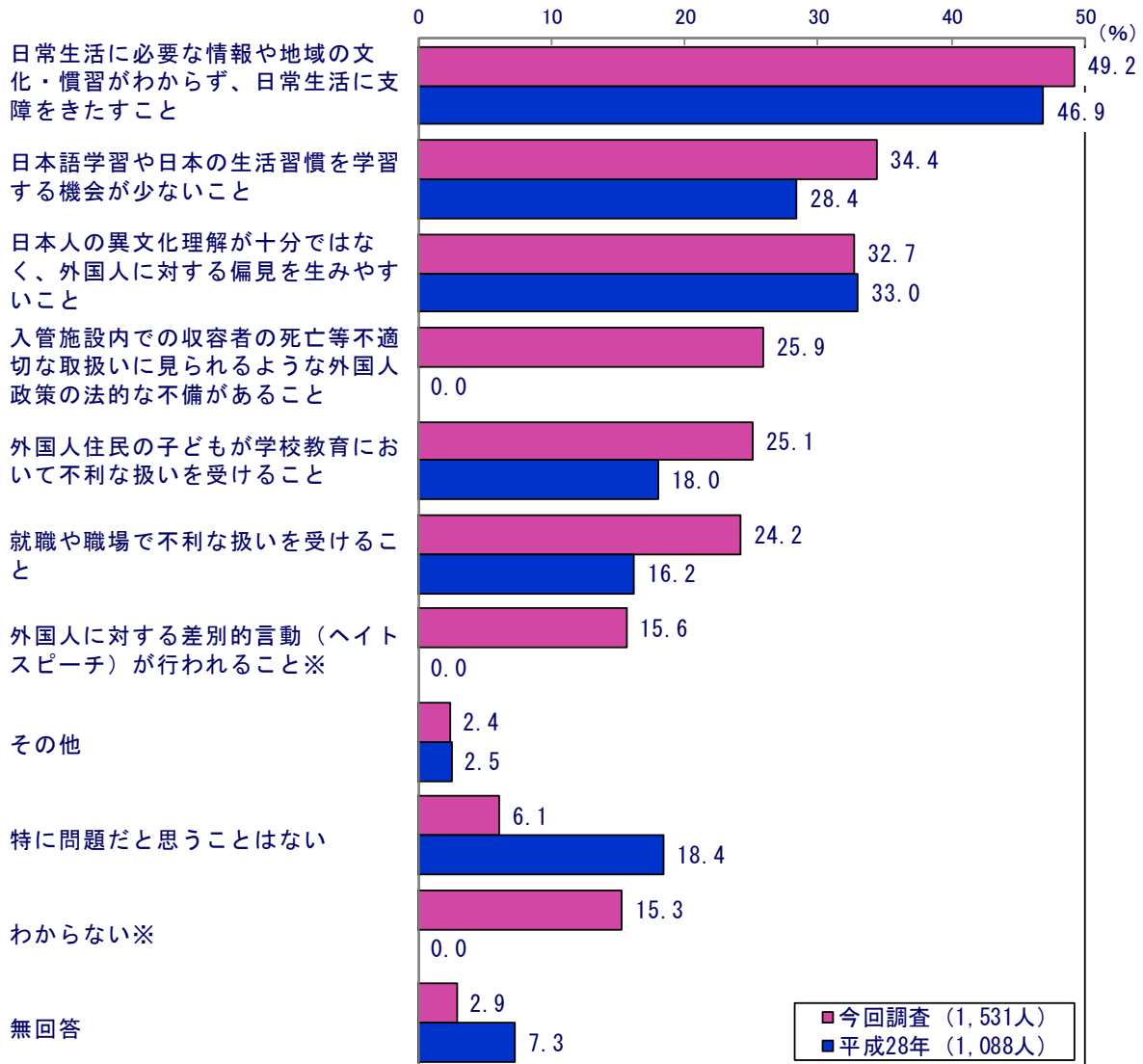
※ 平成 28 年の調査では、「同和問題は解決済みであり、特に対策は必要ない」はなかったため、0%となっている。



## 9 外国人の人権について

### 1. 外国人に関する人権上の問題

問 16. 日本で生活する外国人の人権について、特にどのようなことが問題だと思えますか。(〇はいくつでも)

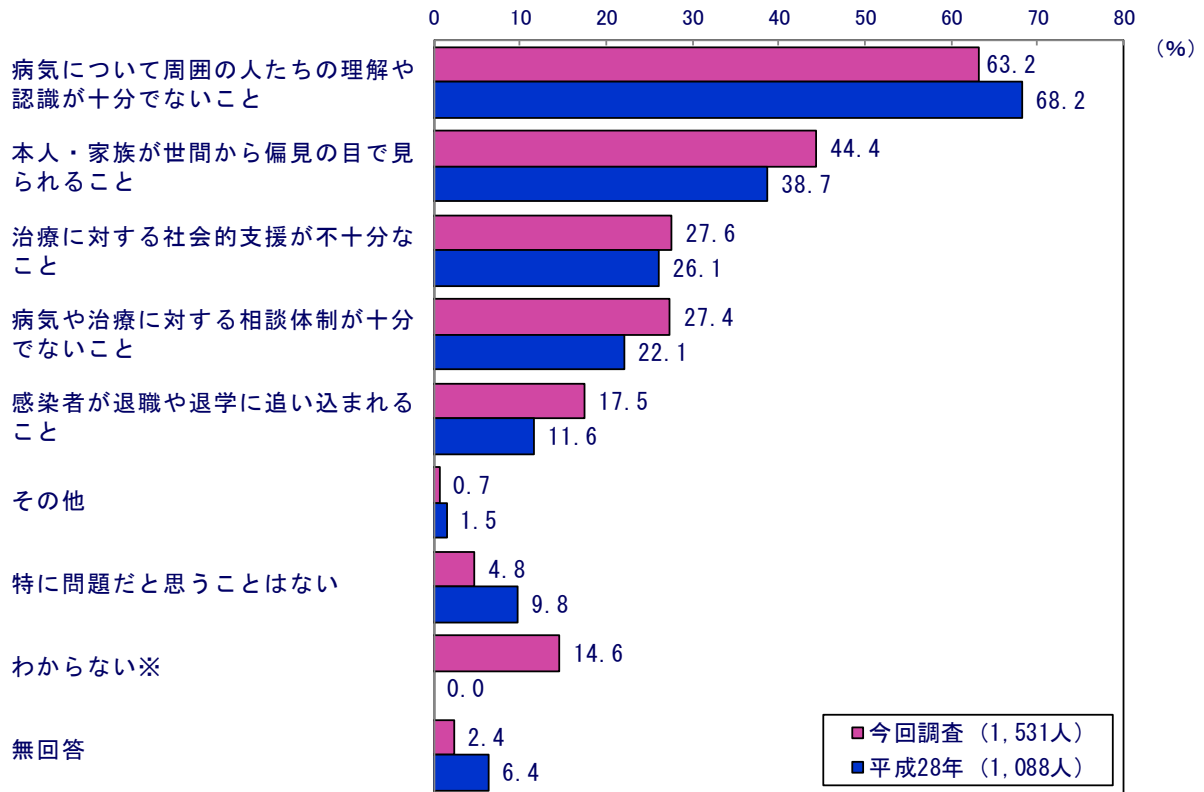


※ 平成28年の調査では、「入管施設内での収容者の死亡等不適切な取扱いに見られるような外国人政策の法的な不備があること」、「外国人に対する差別的言動（ヘイトスピーチ）が行われること」、「わからない」はなかったため、0%となっている。

## 10 患者及び感染者等の人権について

### 1. HIV(エイズの原因ウイルス)感染者及び肝炎ウイルス感染者等に関する人権上の問題

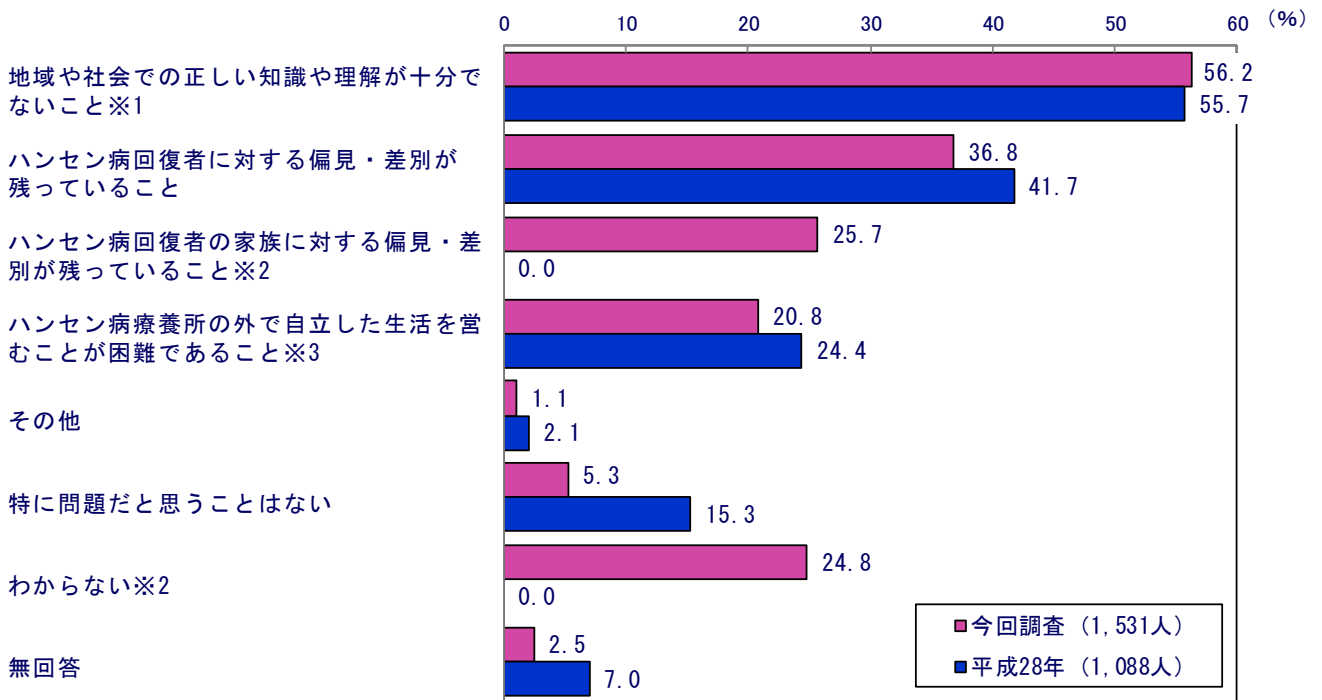
問 17. HIV（エイズの原因ウイルス）感染者及び肝炎ウイルス感染者等の人権について、特にどのようなことが問題だと思いますか。（〇はいくつでも）



※ 平成 28 年の調査では、「わからない」はなかったため、0%となっている。

## 2. ハンセン病回復者に関する人権上の問題

問 18. ハンセン病回復者の人権について、特にどのようなことが問題だと思えますか。  
(〇はいくつでも)



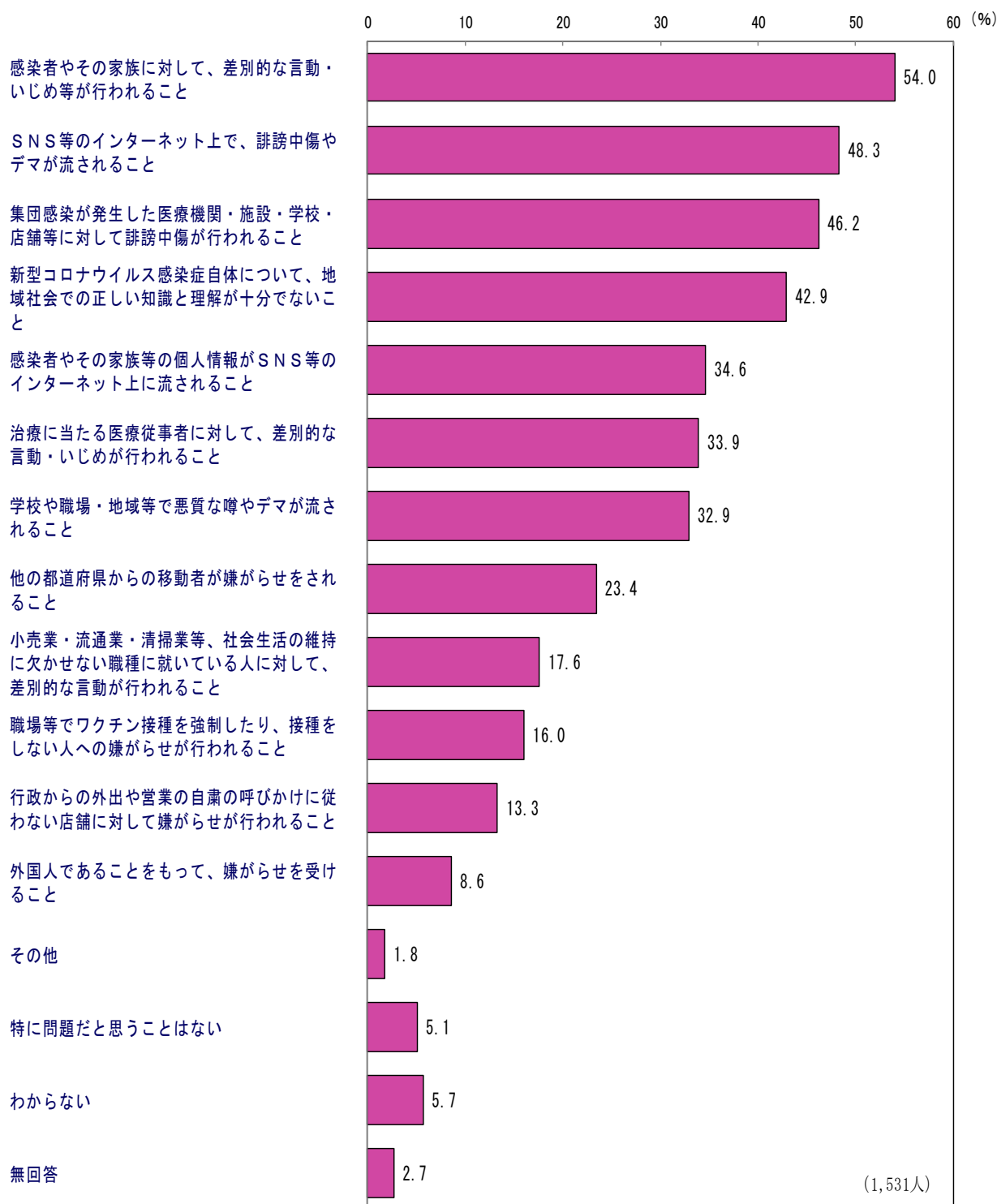
※1 平成 28 年の調査では、「学校や地域におけるハンセン病問題についての教育・啓発活動が不十分であること」としていた。

※2 平成 28 年の調査では、「ハンセン病回復者の家族に対する偏見・差別が残っていること」と「わからない」はなかったため、0%となっている。

※3 平成 28 年の調査では、「ハンセン病回復者の社会復帰に対する行政などの支援が不十分であること」としていた。

### 3. 新型コロナウイルス感染症に関する人権上の問題

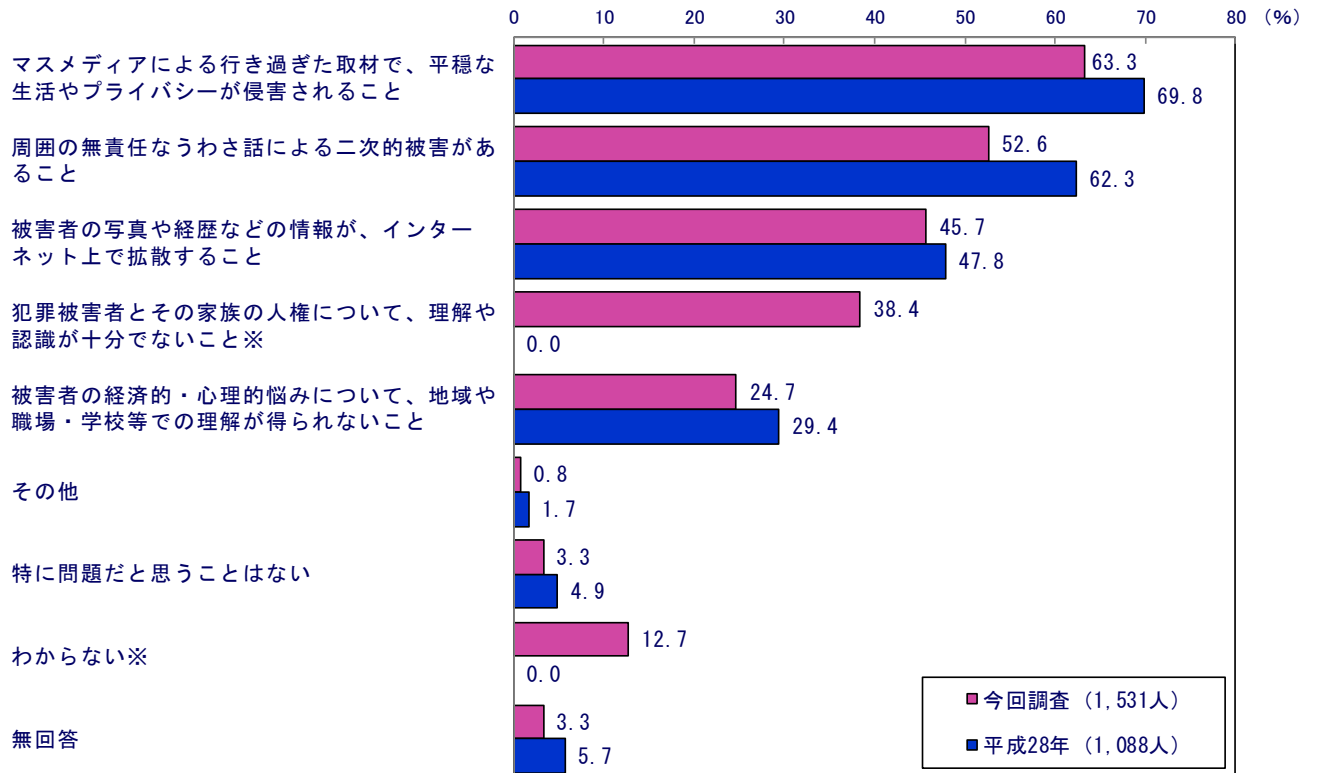
問 19. 新型コロナウイルス感染症に関わる人権について、特にどのようなことが問題だと思いませんか。(〇はいくつでも)



# 11 犯罪被害者とその家族の人権について

## 1. 犯罪被害者とその家族に関する人権上の問題

問 20. 犯罪被害者とその家族の人権について、特にどのようなことが問題だと思いますか。(〇はいくつでも)

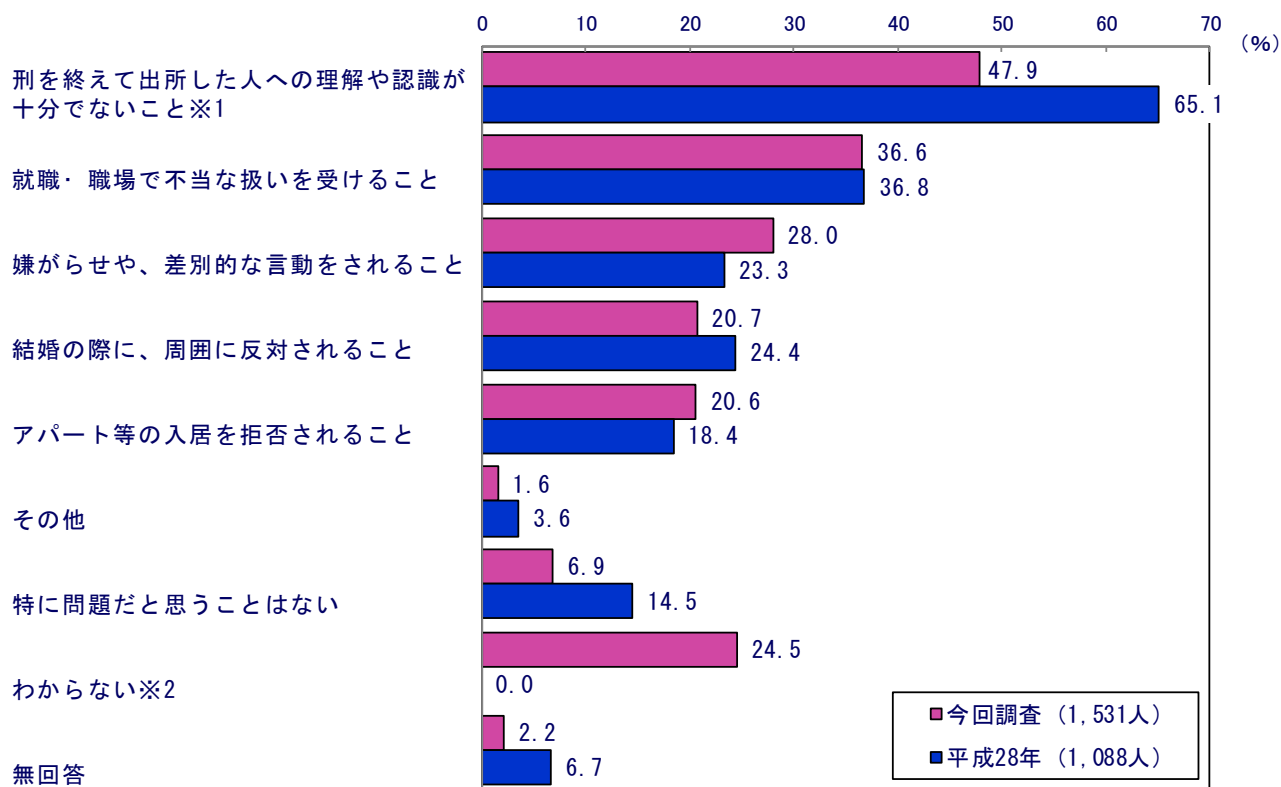


※ 平成 28 年の調査では、「犯罪被害者とその家族の人権について、理解や認識が十分でないこと」と「わからない」はなかったため、0%となっている。

## 12 刑を終えて出所した人の人権について

### 1. 刑を終えて出所した人に関する人権上の問題

問 21. 刑を終えて出所した人の人権について、特にどのようなことが問題だと思いますか。(〇はいくつでも)



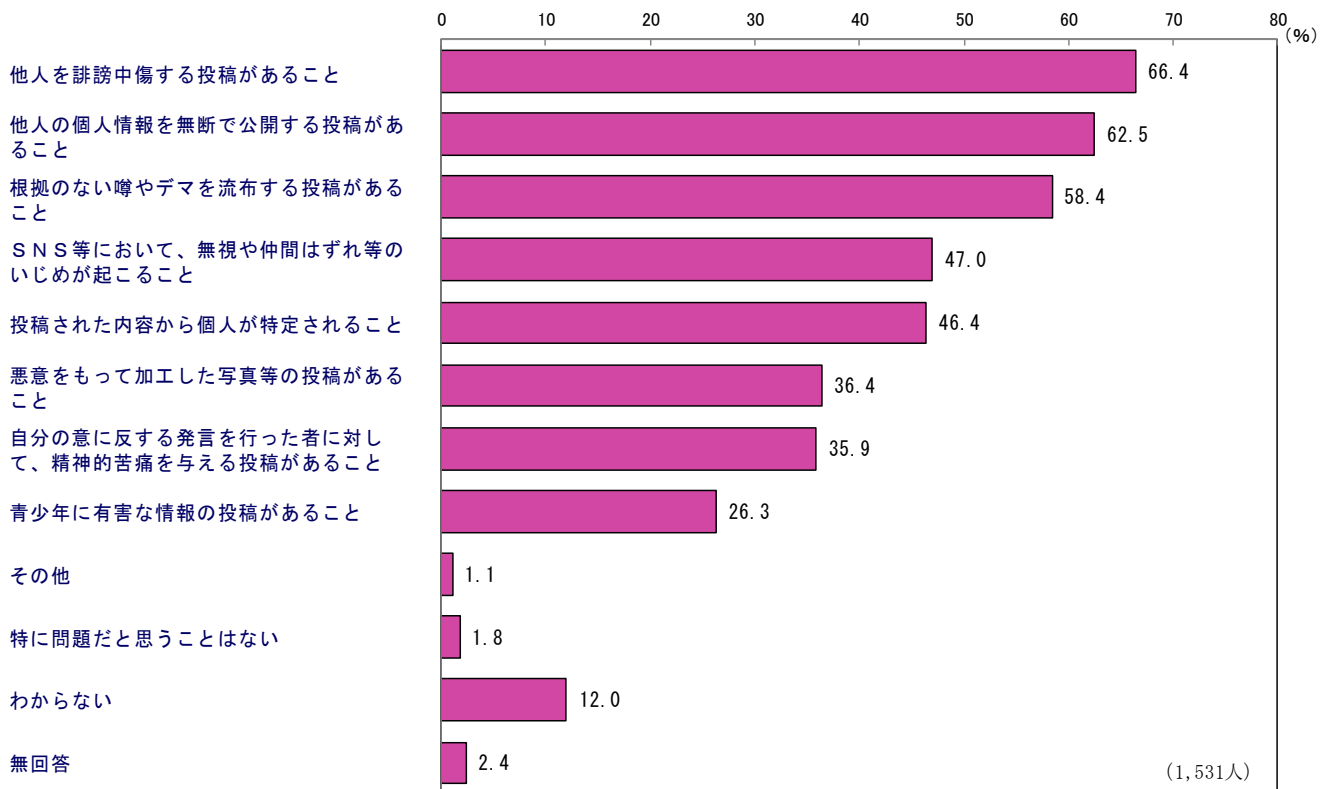
※1 平成 28 年の調査では、「出所した人に対する偏見があること」としていた。

※2 平成 28 年の調査では、「わからない」はなかったため、0%となっている。

# 13 インターネットによる人権侵害について

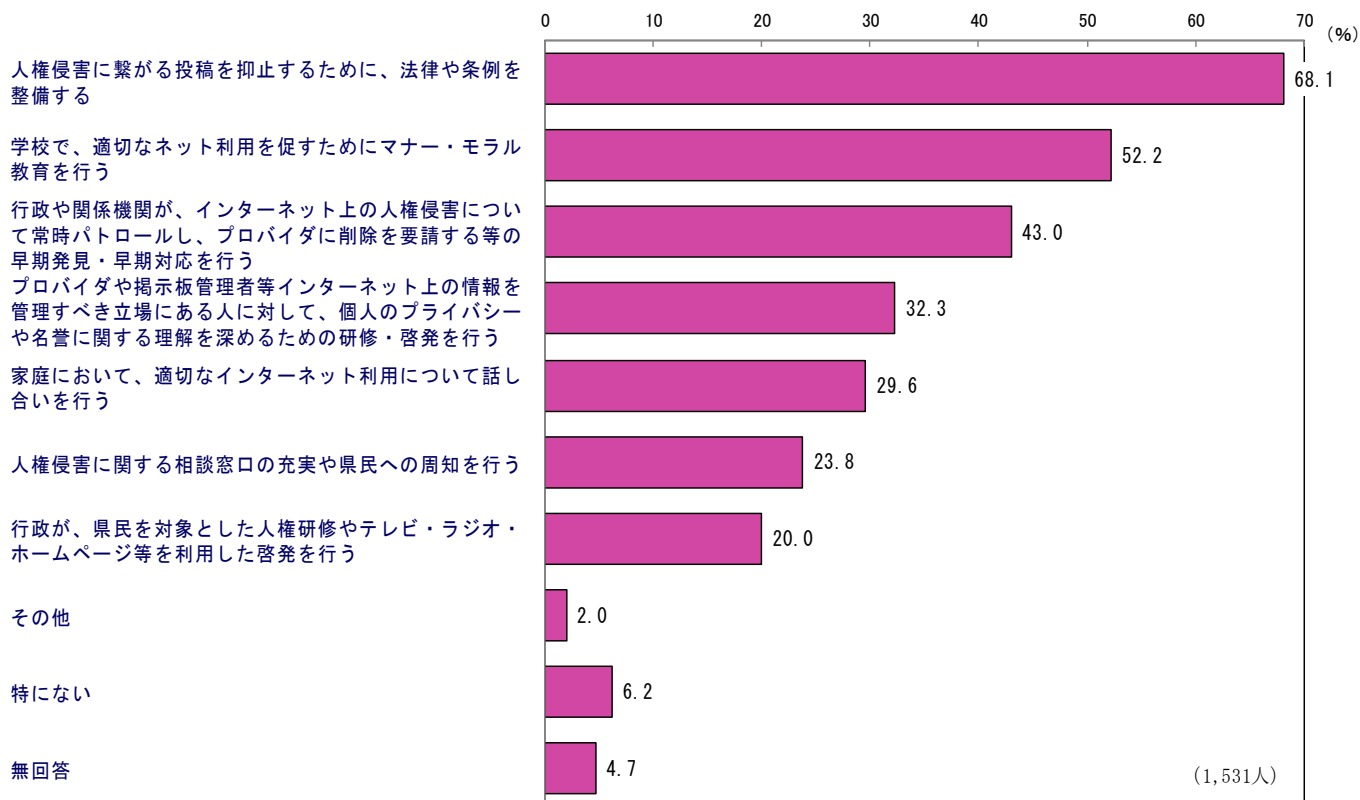
## 1. インターネット上の人権侵害

問 22. インターネット上の人権侵害に関して、特にどのようなことが問題だと思いますか。  
(〇はいくつでも)



## 2. インターネット上の人権侵害をなくすための対策

問 23. インターネット上の人権侵害をなくすためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

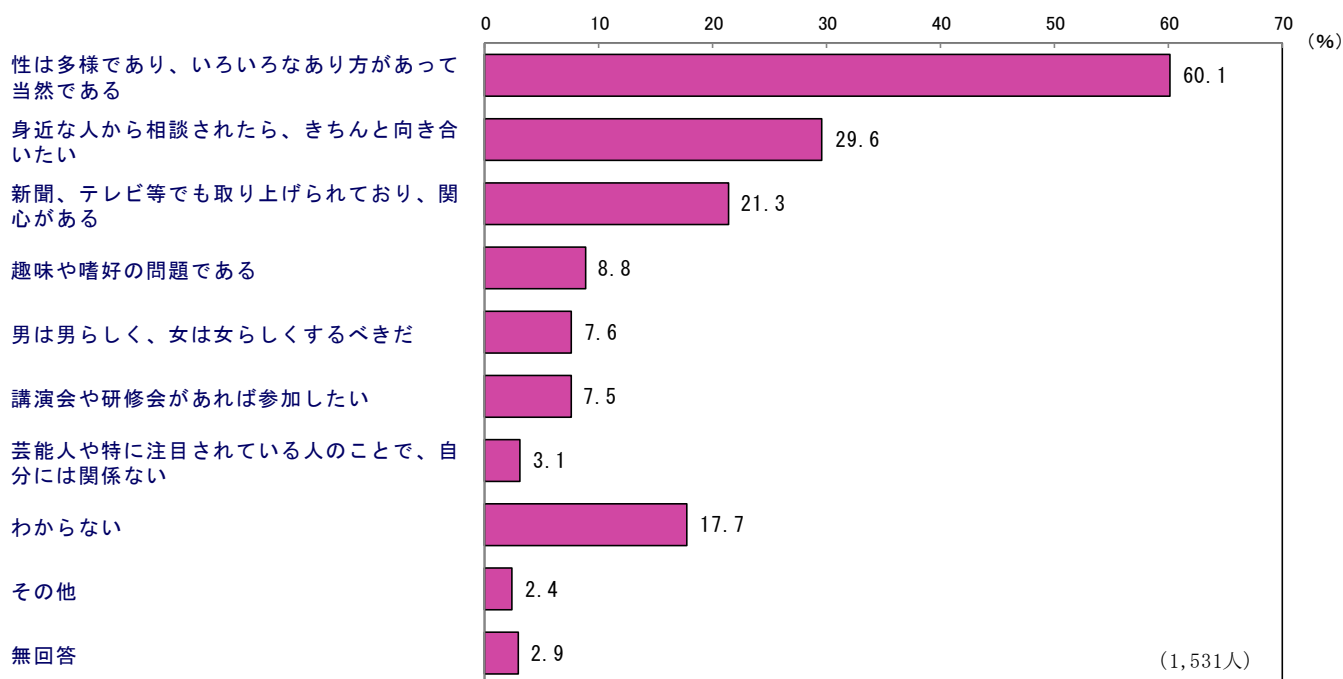




## 14 性的指向、性自認等(LGBT等)に関わる人権について

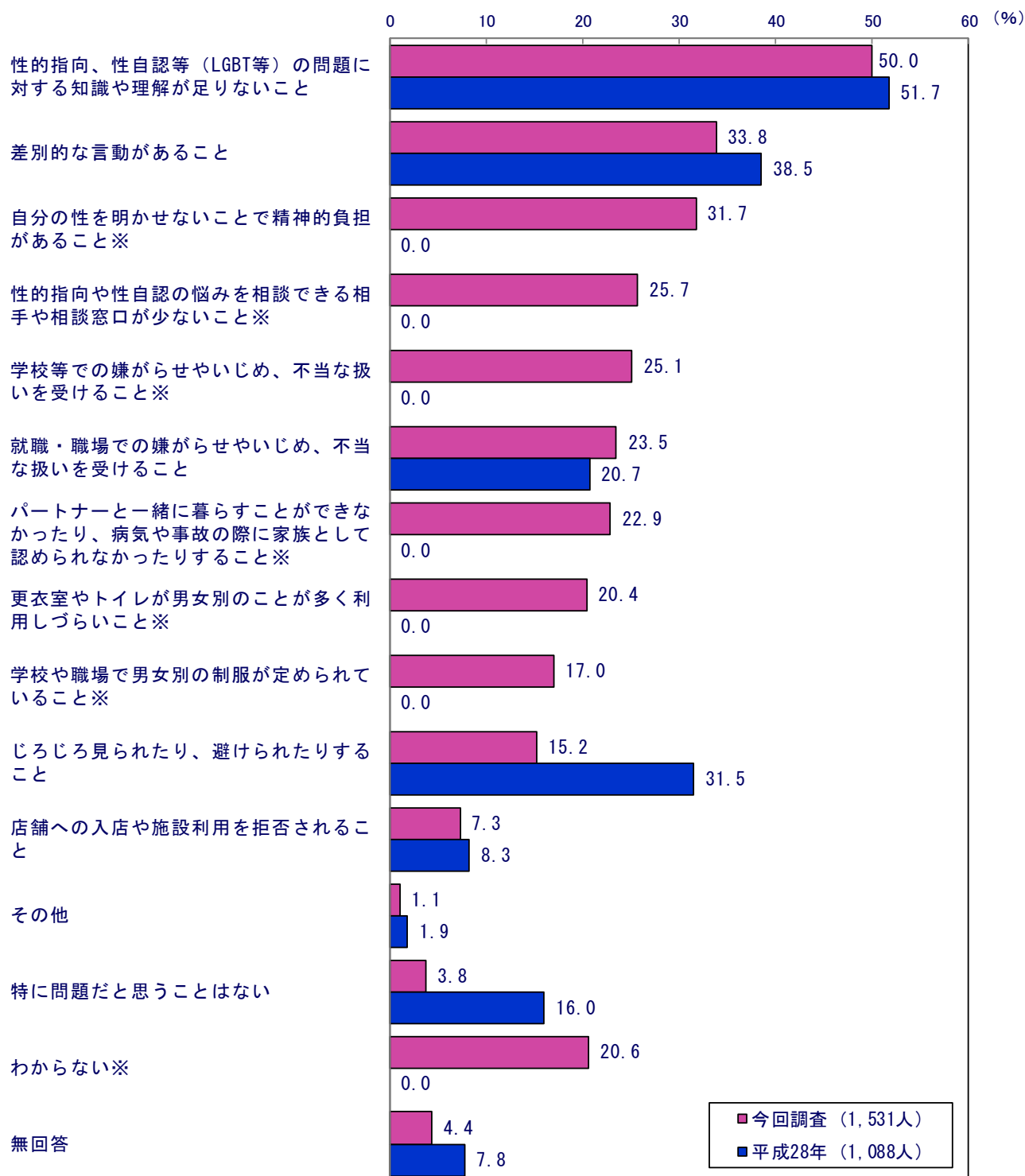
### 1. 性的指向、性自認等(LGBT等)に関わる人権についての考え

問 24. 性的指向、性自認等(LGBT等)に関わる人権について、あなたはどのように考えますか。(〇はいくつでも)



## 2. 性的指向、性自認等（LGBT等）に関わる人権上の問題

問 25. 性的指向、性自認等（LGBT等）に関わる人権について、特にどのようなことが問題だと思いますか。（〇はいくつでも）

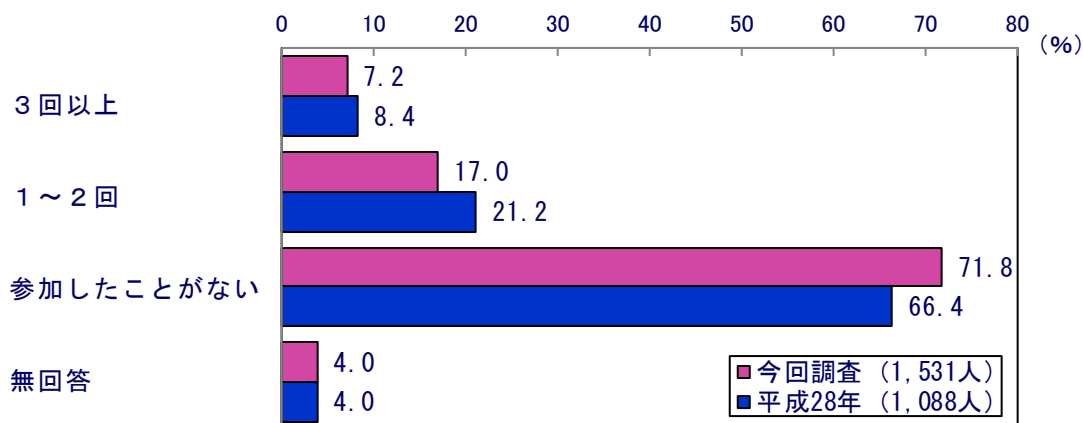
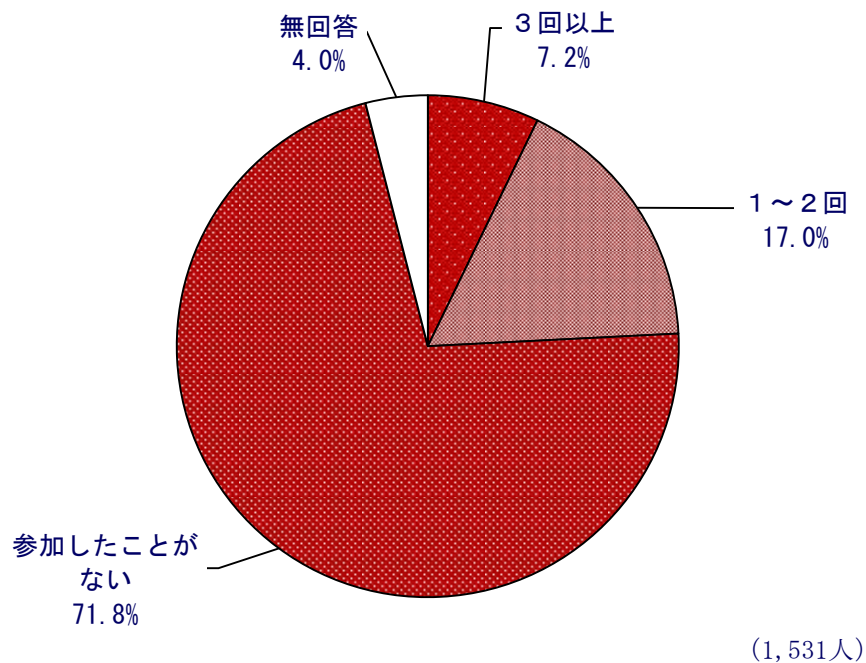


※ 平成28年の調査では、「自分の性を明かせないことで精神的負担があること」、「性的指向や性自認の悩みを相談できる相手や相談窓口が少ないこと」、「学校等での嫌がらせやいじめ、不当な扱いを受けること」、「パートナーと一緒に暮らすことができなかつたり、病気や事故の際に家族として認められなかつたりすること」、「更衣室やトイレが男女別のことが多く利用しづらいこと」、「学校や職場で男女別の制服が定められていること」、「わからない」はなかったため、0%となっている。

## 15 研修の参加状況について

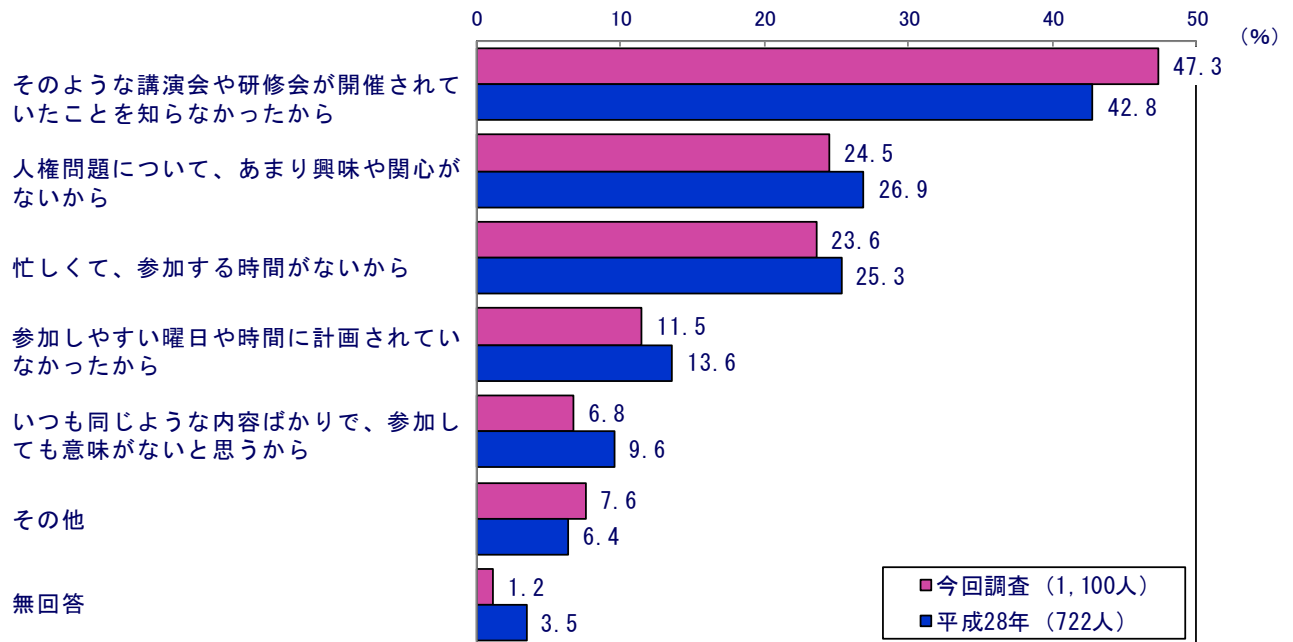
### 1. 過去3年間における研修会等の参加回数

問 26. あなたは、過去3年くらいの間に、人権問題に関する講演会や研修会に、何回くらい参加しましたか。(〇は1つ)



## 2. 参加しなかった理由

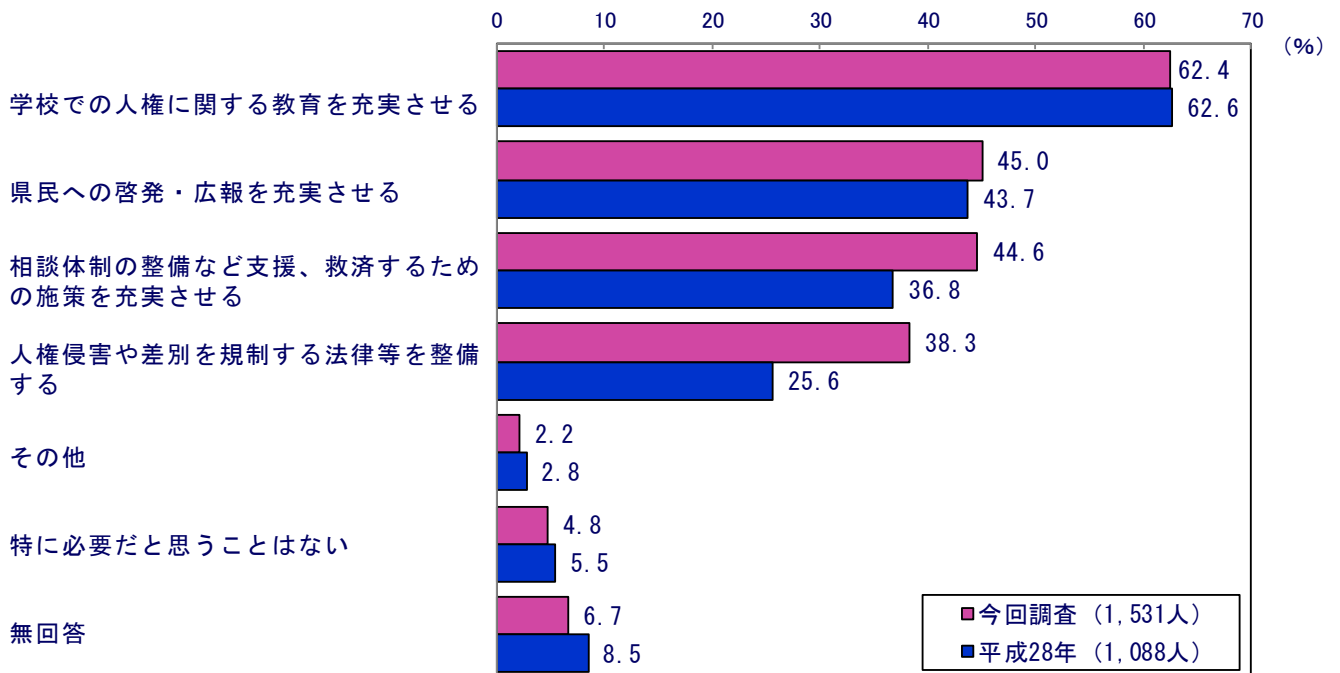
問 26 の 2. 問 26 で「参加したことがない」を選ばれた方におたずねします。  
参加されなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)



## 16 人権が尊重される社会に向けての取組みについて

### 1. 人権が尊重される社会に向けた行政の取組み

問 27. 人権が尊重される社会を実現するために、行政の施策として、特にどのような取組みが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)





島根県人権問題県民意識調査報告書 概要版

令和4年3月

発行 島根県環境生活部人権同和対策課

住所 〒690-8501

島根県松江市殿町1番地

電話 0852-22-6476